

株式会社 KIT



ファイル連携ツール ユーザーズガイド

はじめに

この度は弊社ソフトウェア『ファイル連携ツール』をご使用いただき、誠にありがとうございます。

著作権および商標について

RADEN は、（株）KIT の登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国、および その他の国における登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

本書の一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

Copyright (c) 2014 KIT Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2014 年 9 月

目次

第1章	製品情報	1
1	特長	1
2	機能	2
2.1	ファイル連携機能	2
2.2	ファイル転送機能	3
2.3	ファイル編集機能	4
2.4	サポート機能	4
第2章	インストールガイド	5
1	ご使用前に	5
2	動作環境	5
3	インストール手順	6
4	アンインストール手順	9
第3章	操作ガイド	10
1	起動	10
2	操作メニュー	10
3	ジョブネットの追加／編集	11
3.1	ジョブネット詳細	12
3.2	トリガー種別	13
3.3	ジョブ設定	16
3.4	エラー発生時ジョブの設定	25
3.5	ジョブネットの動作確認	26
4	ジョブネットの削除	27
5	ジョブネットの開始／停止	28
5.1	全開始	28
5.2	全停止	28
5.3	ジョブネット毎の開始／停止	29
6	ジョブネットの状態確認	29
7	ジョブネット設定のインポート／エクスポート	30
7.1	インポート	30
7.2	エクスポート	30
8	ログ格納先を開く	31
9	環境設定	32
9.1	ログ設定	32
9.2	表示設定	33
10	バージョン情報	34
11	終了	34
第4章	運用ガイド	35
1	ファイルを送信する	35
1.1	ジョブネットの追加	35
1.2	スケジュール設定	36

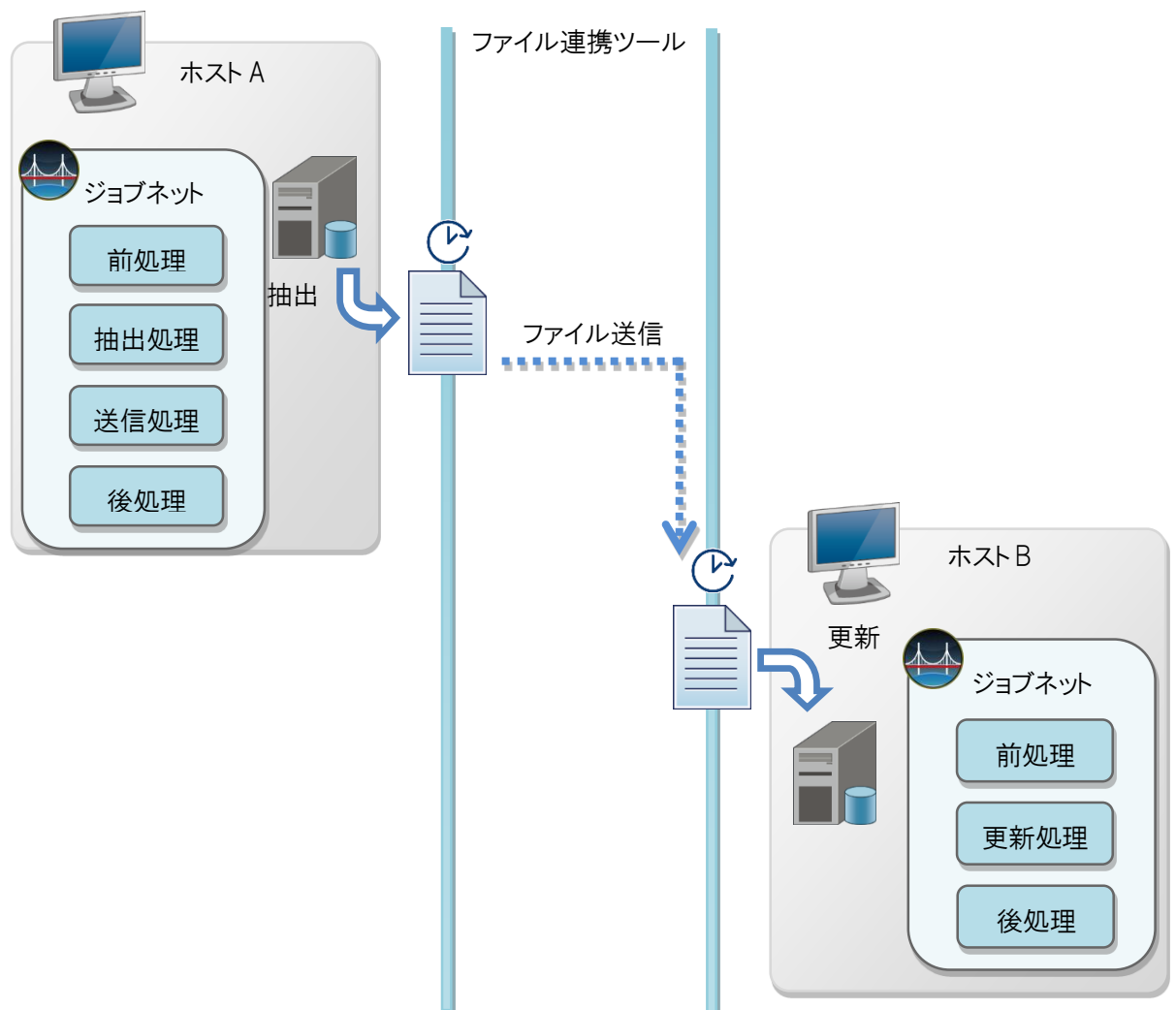
1.3	ジョブ設定	37
2	ファイルを受信する	44
2.1	ジョブネットの追加	44
2.2	ファイル受信設定	45
2.3	ジョブ設定	46
3	ジョブの動作確認	52
4	エラーが発生した時	53
5	ジョブネットの登録件数	54
6	正規表現について	54
7	スタートアップへの登録	54
索引		55

第1章 製品情報

ファイル連携ツールは、各システムで使用するデータファイルの転送やコピーを行うシステム間の連携ツールです。ファイルを中心にシステム間の連携を実現します。

1 特長

ファイルの送受信に関連する複数のジョブをジョブネットとして一括管理し、一連の流れでファイル転送やコピー処理を行うことが可能です。フォルダーやファイルの監視機能、スケジュール機能によりジョブネットを起動し、システム間を連携します。



2 機能

ファイル連携ツールは、ファイル連携、ファイル転送、ファイル編集の機能があります。ファイル連携機能が、ファイル転送やファイル編集に関連する複数のジョブを一括管理することが可能です。

2.1 ファイル連携機能

ファイル連携は、ファイルを介してデータ連携を実現します。あらかじめ指定した条件によりジョブネット（一括管理された複数のジョブ）を起動し、ファイル転送やデータ変換等の処理を実行します。

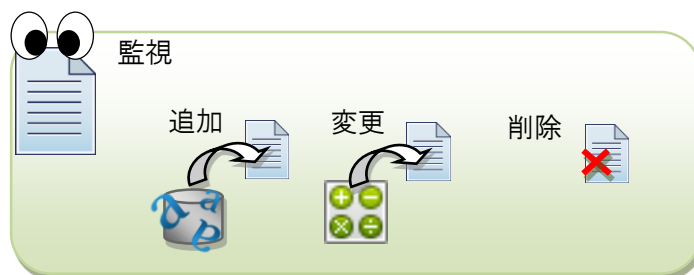
2.1.1 フォルダ監視機能

フォルダ監視機能は、指定したフォルダを指定間隔で監視し、ファイルの追加／変更／削除／ファイル名変更が行われた場合にジョブネットを起動します。



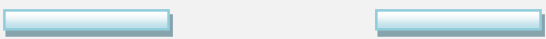
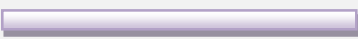
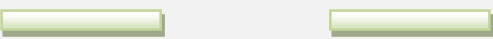
2.1.2 ファイル監視機能

ファイル監視機能は、指定したファイルを指定間隔で監視し、ファイルの追加／変更／削除／ファイル名変更が行われた場合にジョブネットを起動します。



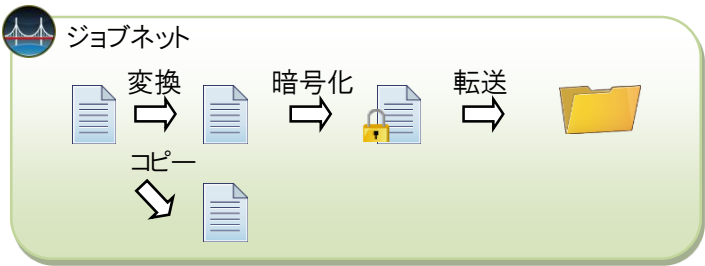
2.1.3 スケジューラ機能

スケジューラ機能は、指定したスケジュールに従い、ジョブネットを起動します。

ジョブネット1		
ジョブネット2		
ジョブネット3		
ジョブネット4		

2.1.4 ジョブネット機能

ジョブネット機能は、複数のジョブを一括管理する機能です。関連する複数のジョブを一つの起動条件により、指定した順に起動します。

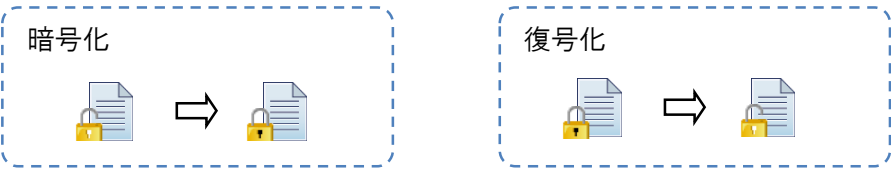


2.2 ファイル転送機能

ファイル転送機能は、ファイルを指定先にコピー／移動します。ファイルの転送時に色々な処理を付加し、ファイルを転送することができます。

2.2.1 暗号化・復号化機能

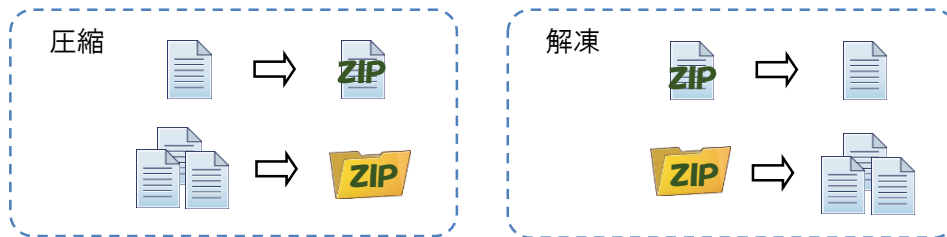
暗号化・復号化機能は、ファイル送信前にファイルを暗号化、または、暗号化したファイルを受信した場合にファイルを復号化します。



※暗号アルゴリズムは、DES（Data Encryption Standard）を3重に繰り返すトリプルDESを使用しています。

2.2.2 圧縮・解凍機能

圧縮・解凍機能は、ファイル送信前にファイルを圧縮、または、圧縮したファイルを受信した場合にファイルを解凍します。



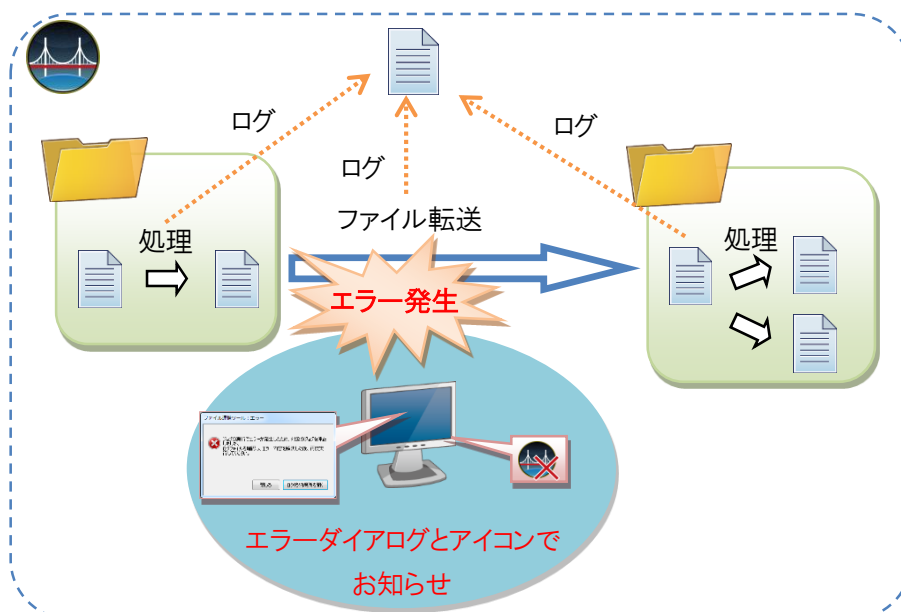
※圧縮は、ZIP 圧縮を使用しています。

2.3 ファイル編集機能

ファイル編集機能は、ファイル内のデータを編集します。データ項目の編集や並び替えを行います。

2.4 サポート機能

サポート機能として、ログ機能とエラー通知機能があります。ログ機能は、ジョブネットの動作やエラー履歴をファイルに出力します。エラー通知機能は、ジョブネットの起動やジョブ実行時に発生したエラーを通知します。エラー発生によりジョブネットが停止した場合、環境設定に従いエラーアイコンやダイアログでお知らせします。



第2章 インストールガイド

1 ご使用前に

 **ご使用前に、必ずご確認ください。**

- ・ ご使用いただく前に、インストール時に表示されますソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。
- ・ 本ソフトウェアは本製品の使用許諾契約のもとでのみ使用することができます。
- ・ 本製品を正しくお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。
- ・ 本製品を使用した結果の影響につきましては、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本製品の仕様、および本製品付属の各種マニュアルに記載されている内容は、将来予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- ・ 本製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社サポートまでご連絡ください。

2 動作環境

環境	詳細
OS	Windows7 Home Premium/Professional/Ultimate(32bit, 64bit) Windows8/Windows8 Pro/Windows8 Enterprise(32bit, 64bit) (いずれも日本語版)
パソコン本体	上記日本語 OS が稼働するパーソナルコンピューター
メモリ	2GB 以上
ハードディスク	20MB 以上の空き容量 (推奨)
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework2.0 以上

本製品の動作確認は一般的な運用を想定した動作検証を実施しており、全ての他社アプリケーションとの共存環境での検証を実施するには至っておりません。

従いまして、上記動作環境は全ての環境での本製品の動作を保証するものではありません。

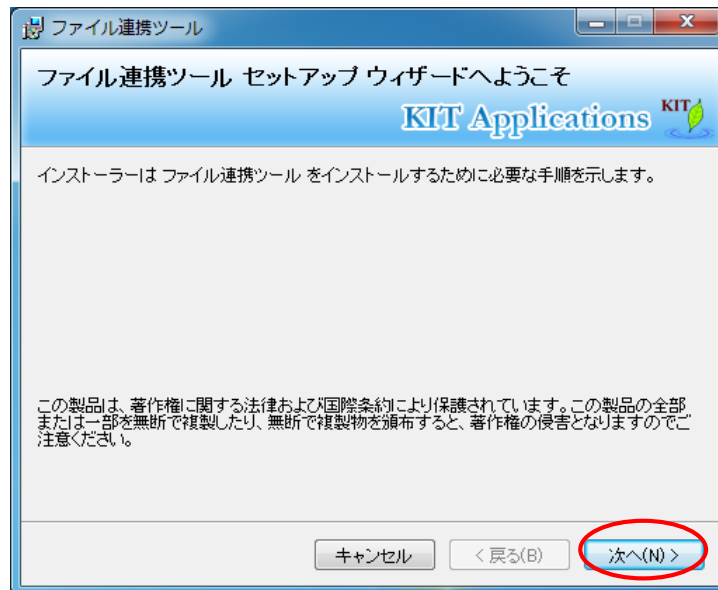
あらかじめご了承下さい。

3 インストール手順

本書は、Windows7 での操作手順および画面を記載しています。
以下の手順でインストールを行ってください。

(1) インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

ファイル連携ツールセットアップウィザードが自動的に起動します。

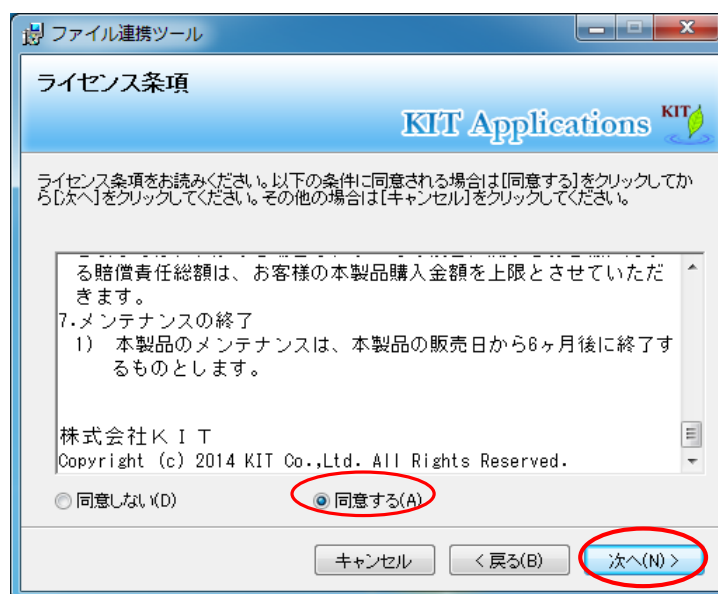


※この画面が自動的に起動しない場合は、CD-ROM 内の「setup.exe」を実行してください。

※「.NET Framework2.0」が導入されていない場合、「.NET Framework2.0」のインストール画面が表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従いインストールを行ってください。

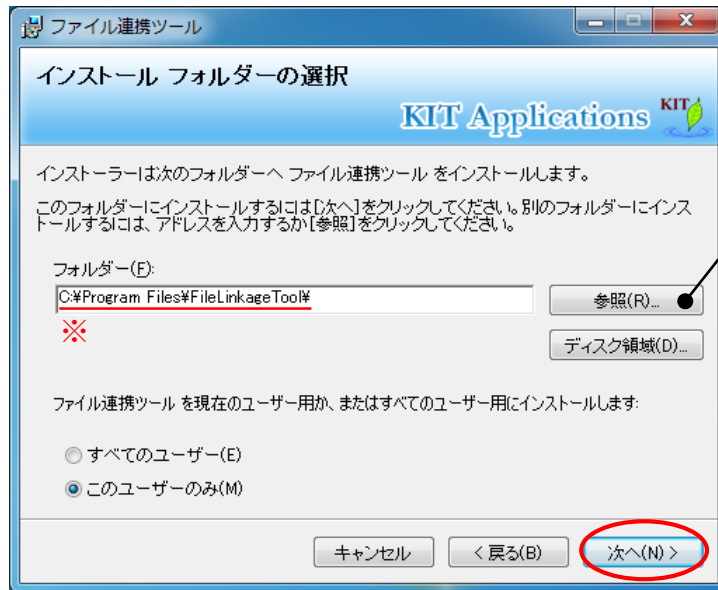
(2) 「次へ(N)」をクリックします。

(3) 「ソフトウェア使用許諾契約書」をご確認の上、「同意する(A)」をチェックし、「次へ(N)」をクリックします。



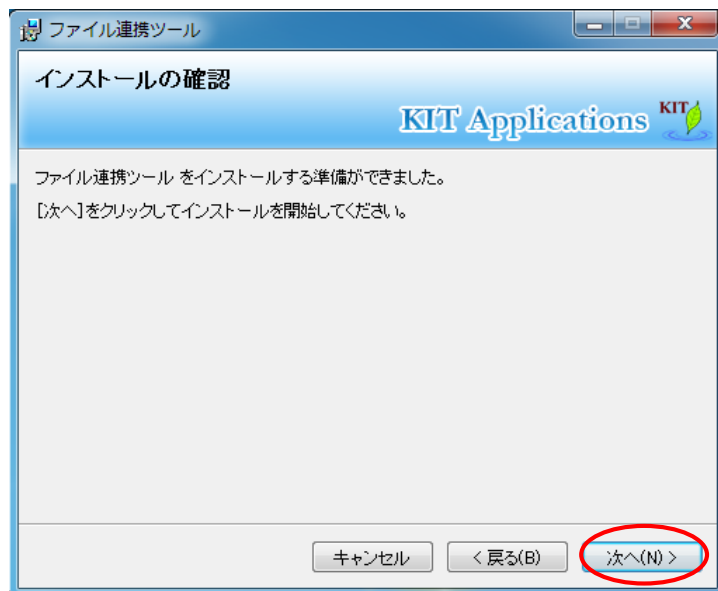
- (4) インストール先のフォルダーを確認し、「次へ(N)」をクリックします。

インストール先のフォルダーを変更する場合は、「参照(R)」をクリックし、保存するドライブ、およびフォルダーを指定してください。

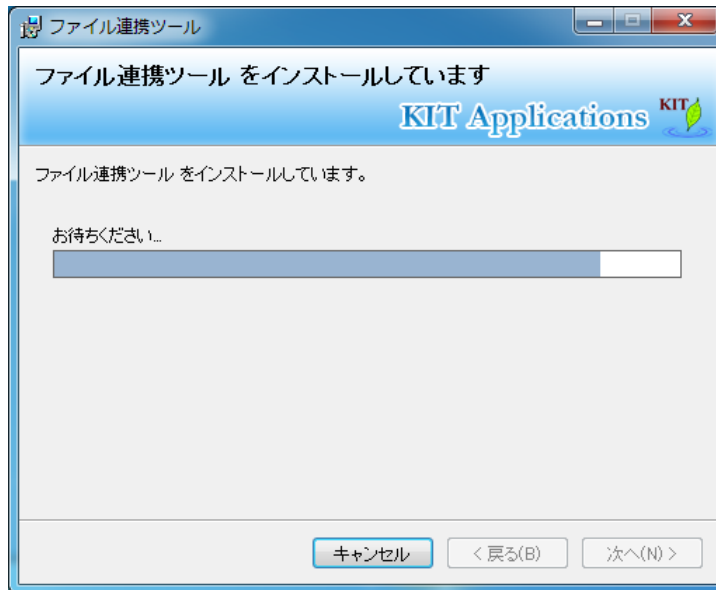


インストール先の変更

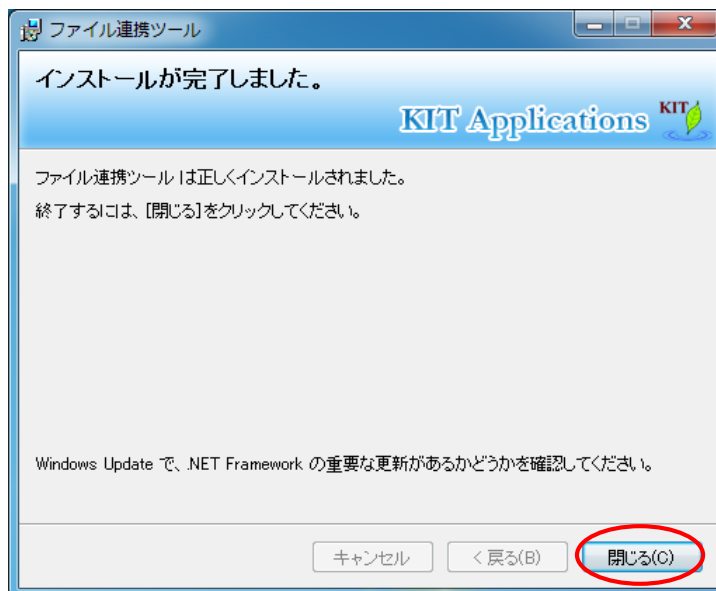
- (5) 「次へ(N)」をクリックすると、インストールが開始されます。



- (6) インストールの実行中です。
画面が切り替わるまでそのままお待ちください。



- (7) インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。
「閉じる(C)」をクリックし、セットアップウィザードを終了します。



以上でインストールが完了です。

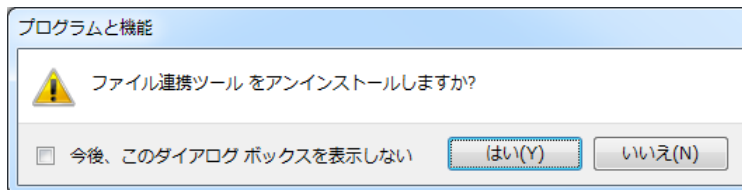
4 アンインストール手順

本書は、Windows7 での操作手順および画面を記載しています。
以下の手順でインストールを行ってください。

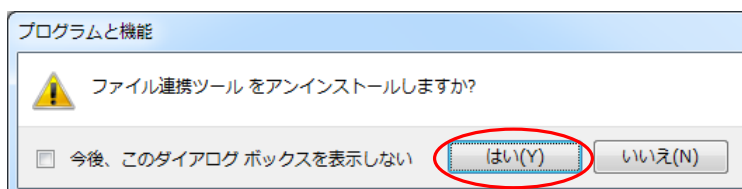
- (1) Windows のタスクバーで[スタート]ボタン→[コントロールパネル]を選択します。
コントロールパネルの[プログラムと機能]をクリックします。
プログラムリストの中から、「ファイル連携ツール」を選択し、「アンインストール」をクリックします。



下のメッセージが表示されます。



- (2) 「はい(Y)」をクリックすると、アンインストールが開始されます。

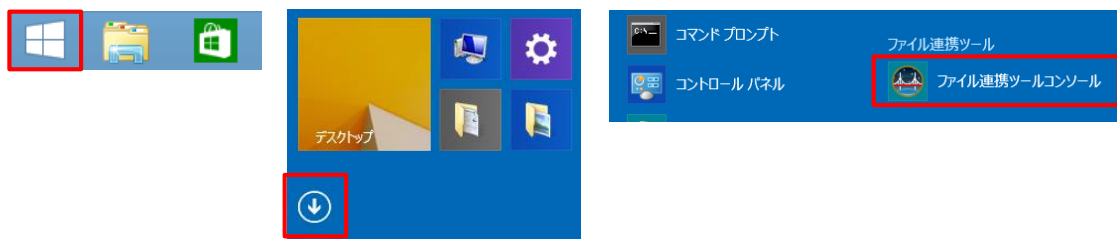


以上でアンインストールが完了です。

第3章 操作ガイド

1 起動

ファイル連携ツールはWindowsのサービスとして起動しています。このファイル連携ツールのサービスは、ジョブネットの実行をバックグラウンドで実行するために動作しています。そのため、ジョブネットの設定や状態の表示を行うためにはコンソールアプリケーションを使用する必要があります。このコンソールアプリケーションはタスクバーから「タスクバーのスタート」－「左下の下矢印」－「ファイル連携ツール内のファイル連携ツールコンソール」の順に選択して起動します。

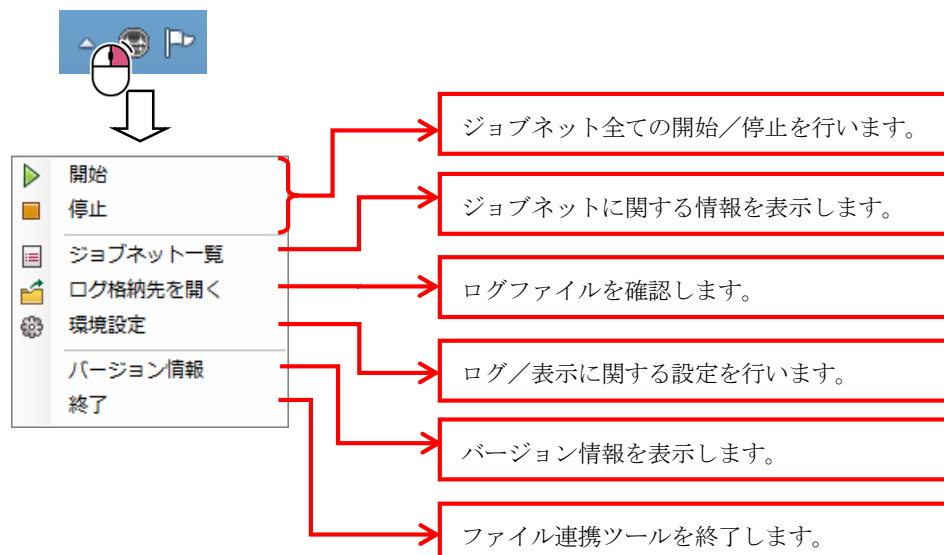


起動後、タスクトレイにファイル連携ツールのアイコンが表示されます。



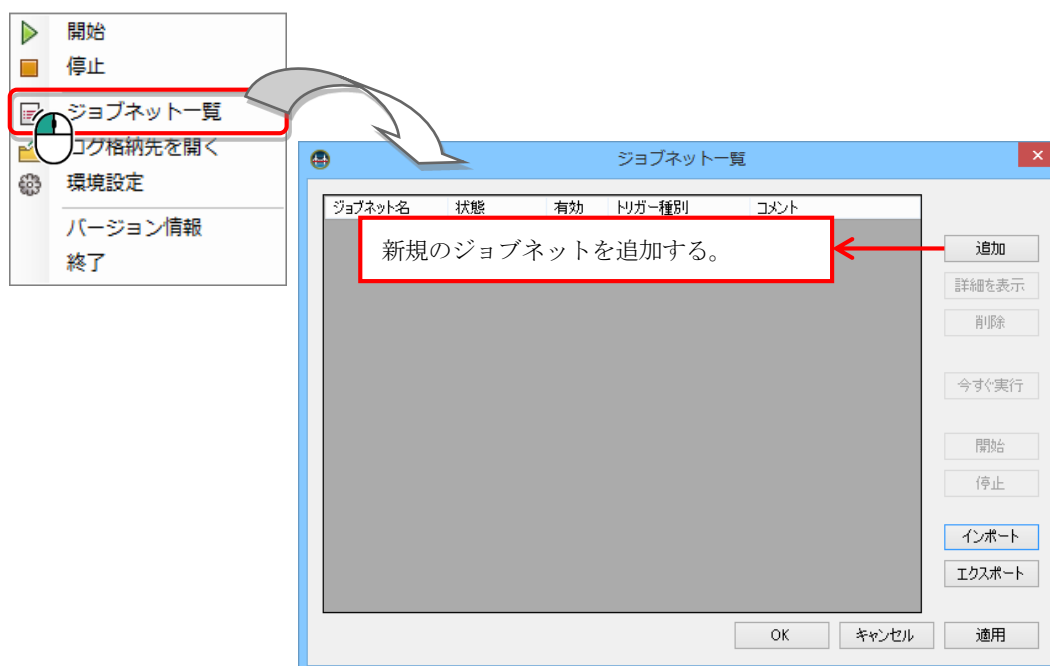
2 操作メニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。ファイル連携ツールに対する操作は全て操作メニューから行います。

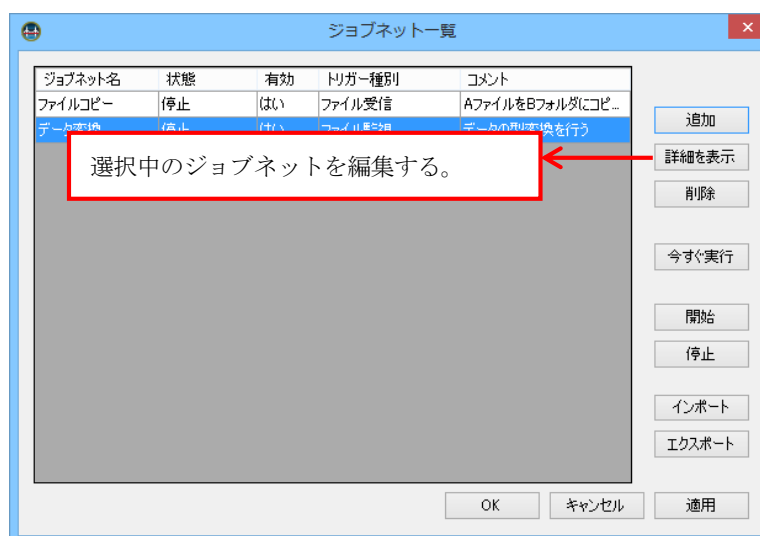


3 ジョブネットの追加／編集

ファイル連携ツールのジョブネットに関する操作は、ジョブネット一覧画面から行います。操作メニューのジョブネット一覧を選択し、ジョブネット一覧画面を表示します。新規のジョブネットを登録する場合、「追加」ボタンをクリックします。

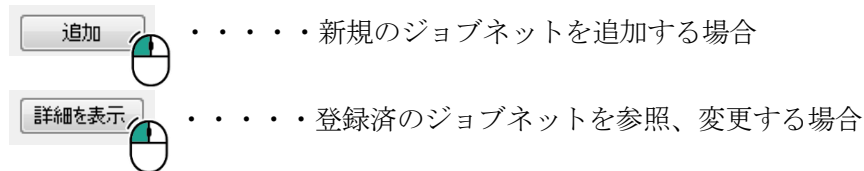


登録済のジョブネットに対して変更する場合、該当するジョブネットを選択し「詳細を表示」ボタンをクリックします。



3.1 ジョブネット詳細

ジョブネットの新規追加や編集は、ジョブネット詳細画面から行います。ジョブネット一覧画面の「追加」または「詳細を表示」ボタンをクリックすると、ジョブネット詳細画面が表示されます。



ジョブネット名を入力します。

ジョブネットの説明を入力します。

ジョブネットが有効かどうかを指定します。（開始要求時、「いいえ」設定のジョブネットは実行されません。）

トリガー種別（起動条件）を選択、設定します。

ジョブでエラーが発生した場合に実行するジョブを選択、設定します。

ジョブでエラー発生した際のトリガー停止する、しないを設定します。

ジョブネット内のジョブを設定します。

設定を保存せず、画面を閉じる。

設定を保存し、画面を閉じる。

ジョブ設定

ジョブでエラー発生時に実行するジョブ:

☐ ジョブでエラー発生してもトリガーの監視を停止しない

ジョブ一覧:

No.	ジョブ	コメント
1	ファイルコピー・移動	Aファイルをコピーする
2	ファイル圧縮	コピーしたファイルを圧縮する

Buttons: 追加, 詳細, 削除, 上へ, 下へ, OK, キャンセル

3.2 トリガー種別

ジョブネットを起動するためのトリガー種別（起動条件）を設定します。トリガー種別を選択し、「詳細」ボタンをクリックして起動条件の設定を行います。トリガーが発生した場合、ジョブ設定したジョブを順次実行します。

起動条件となるトリガーを選択します。

選択したトリガーの詳細設定画面を表示します。

フォルダーを監視し、監視中のフォルダー以下のファイルに追加／変更／削除／名称変更があった場合にジョブネットを起動する。

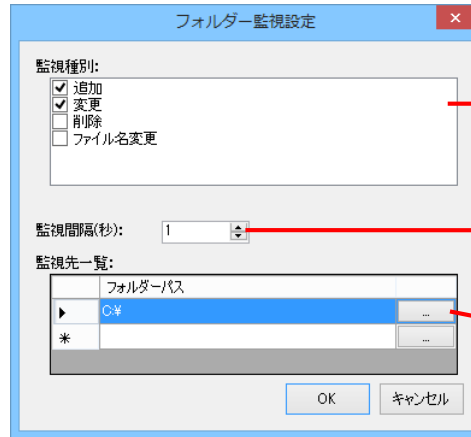
ファイルを監視し、追加／変更／削除／名称変更があった場合にジョブネットを起動する。

ファイル受信が完了した場合にジョブネットを起動する。

指定のスケジュールでジョブネットを起動する。

3.2.1 フォルダ監視

指定したフォルダを監視し、監視中のフォルダ以下でファイルの追加／変更／削除／名称変更があった場合にジョブネットを実行します。監視する間隔は秒単位で指定できます。初期状態では、1秒毎にフォルダを監視します。



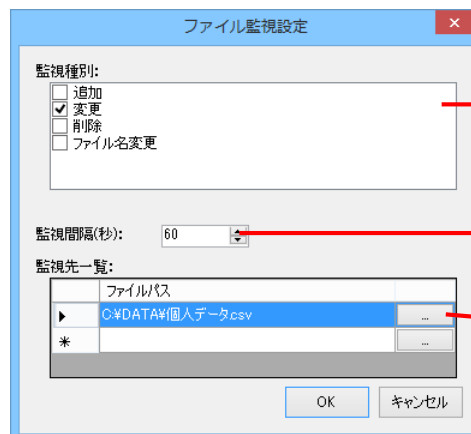
監視の種別を選択します。

監視の間隔を秒単位で指定します。
(指定範囲：1～60 秒)

監視先を指定します。
監視先は複数指定が可能です。

3.2.2 ファイル監視

指定したファイルを監視し、ファイル追加や変更があった場合に処理を行います。



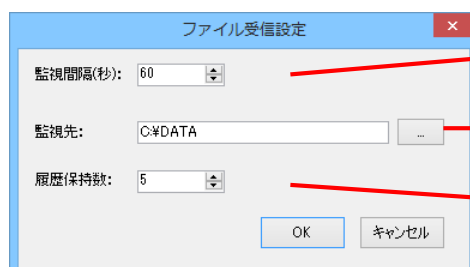
監視の種別を選択します。

監視の間隔を秒単位で指定します。
(指定範囲：1～60 秒)

監視先を指定します。
監視先は複数指定が可能です。

3.2.3 ファイル受信

指定したフォルダ内のファイル受信を監視し、ファイル受信が完了したらジョブネットを実行します。



監視の間隔を秒単位で指定します。

監視先を指定します。

履歴の保持数を指定します。

3.2.4 スケジュール

スケジュールによりジョブネットを起動する場合、トリガー種別の「スケジュール」を選択し、「詳細」ボタンをクリックします。スケジュール設定画面を開き、スケジュールを設定します。初期状態は、ジョブネットが毎分実行されるスケジュールになっています。

例えば、月～金曜日の9時～17時まで2時間おきにジョブネットを起動する場合、以下のように設定します。

<スケジュール設定例>

月～金曜の9:00、11:00、13:00、15:00、17:00にジョブネットを起動します。

3.3 ジョブ設定

ジョブネット内のジョブ（処理）を設定します。ジョブは、ファイルコピーやファイル送信などの処理単位になっています。複数のジョブにより、ジョブネットを構築します。ジョブ毎に対象となるファイルを指定し、処理を定義します。

The screenshot shows the 'Job Network Details' dialog box. It contains fields for 'Job Network Name' (ファイル送信), 'Comment' (データファイルをAシステムに送信する), 'Effective' (はい), and 'Trigger Type' (スケジュール). Below these is the 'Job Setting' section with a dropdown for 'Job to execute when an error occurs' (なし). A checkbox indicates 'Do not stop monitoring the trigger even if an error occurs during the job'. The 'Job List' section shows a table with columns 'No.' and 'Job'. The first row is selected, and a dropdown menu is open showing various job types like 'File Copy Move', 'File Conversion (CSV)', 'File Transfer', etc. To the right of the table are buttons: 'Add', 'Details', 'Delete', 'Up', and 'Down'. Red arrows point from text boxes to these elements.

ジョブネット内のジョブを一覧で表示します。

新規のジョブを追加します。

選択中のジョブの設定画面を表示します。

選択中のジョブを削除します。

選択中のジョブを上／下に1つ移動し、ジョブの順序を変更します。

ジョブで行う処理を選択します。
ジョブを選択後、「詳細」ボタンをクリックし、詳細設定を行います。

「追加」ボタンをクリックすると、ジョブ一覧に1行追加されます。追加行を選択後、「詳細」ボタンをクリックし、ジョブの設定を行います。

ジョブネットのトリガーにより、ジョブ一覧の「No.」順にジョブを実行します。同一ジョブネット内では、トリガーとなったファイル、処理したファイルのパスを共有することが可能です。

3.3.1 ファイルのコピー・移動

ファイルのコピー・移動処理の設定を行います。

The screenshot shows the 'ファイルコピー・移動設定' (File Copy/Move Settings) dialog box. It contains several sections for configuring file operations. Red arrows point from specific UI elements to explanatory text boxes on the right.

Annotations:

- ジョブのコメントを入力します。 (Enter the job comment.)
- コピー、移動するファイルを指定します。 (Specify the file to copy or move.)
- コピー先のフォルダーを指定します。 (Specify the destination folder for copying.)
- コピー／移動を選択します。 (Select copy or move.)
- コピー時にファイル名を変更する場合、変更後の名前を指定します。 (If changing the file name during copy, specify the new name.)
- コピーファイルを上書きします。 (Overwrite the copied file.)

UI Elements:

- コメント:** A text field containing 'ファイルをコピーする'.
- 処理対象ファイル:** Radio buttons for '前ジョブで処理したファイル', 'トリガーとなったファイル', and '指定' (selected).
- 対象ファイル一覧:** A table with columns 'パス名', '正規表現', and 'ファイル名'. It lists 'C:\DATA' and '個人データ.csv'.
- コピー先:** A text field containing 'C:\DATA\更新データ'.
- 動作:** Radio buttons for 'コピー' (selected) and '移動'.
- コピー時に名前を変更する:** A checked checkbox.
- 変更条件一覧:** A table with columns '変更前' and '変更後'. It shows '個人データ.csv' being changed to '顧客データ.csv'.
- 上書きする:** A checked checkbox.

3.3.2 ファイル変換 (CSV)

CSV ファイル内のデータ変換処理の設定を行います。データ変換の対象とするファイルを指定し、変換ルールを設定します。ファイルの定義は「ファイル定義一覧」から登録します。変換ルールは「データ変換テーブル一覧」から登録します。

ファイル変換設定

コメント: 抽出データを変換する

処理対象ファイル

- ☐ 前ジョブで処理したファイル
- ☐ トリガーとなったファイル
- ☒ 指定

対象ファイル一覧

パス名	正規表現	ファイル名
C:\DATA\抽出データ	☒	data00*.csv
▶*	☐	

※正規表現はファイル名でのみ使用可能です

入出力ファイルの関連付け

出力ファイルの定義: Aファイル 入力ファイルの定義: Bファイル

入力/出力ファイルの列の関連付け一覧:

出力列名	入力列名	データ変換テーブル	変換エラー
code	no	コード変換	停止する
data	data	変換なし	無視する
out1	in1	ac変換	無視する
out2	in2	ac変換	無視する
out3	in3	ac変換	無視する

定義一覧

ファイル定義一覧 データ変換テーブル一覧

OK キャンセル

ジョブのコメントを入力します。

変換するファイルを指定します。

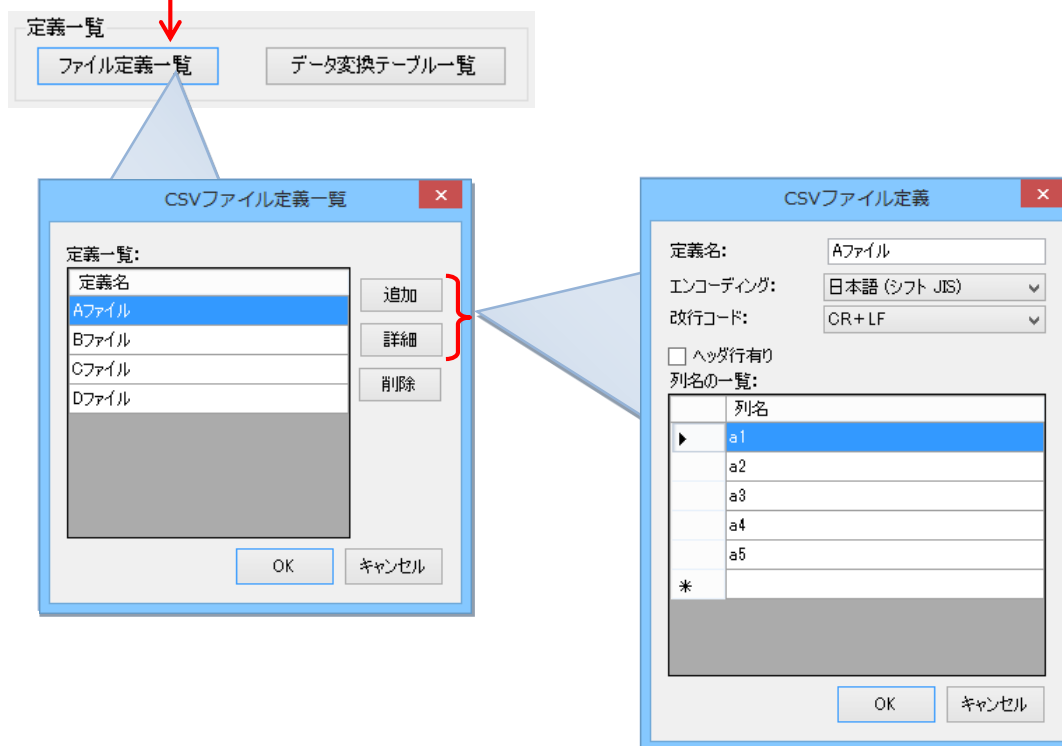
入力/出力ファイルを登録済の定義一覧から選択します。

入力/出力ファイルを列単位でデータの関連付けを行います。

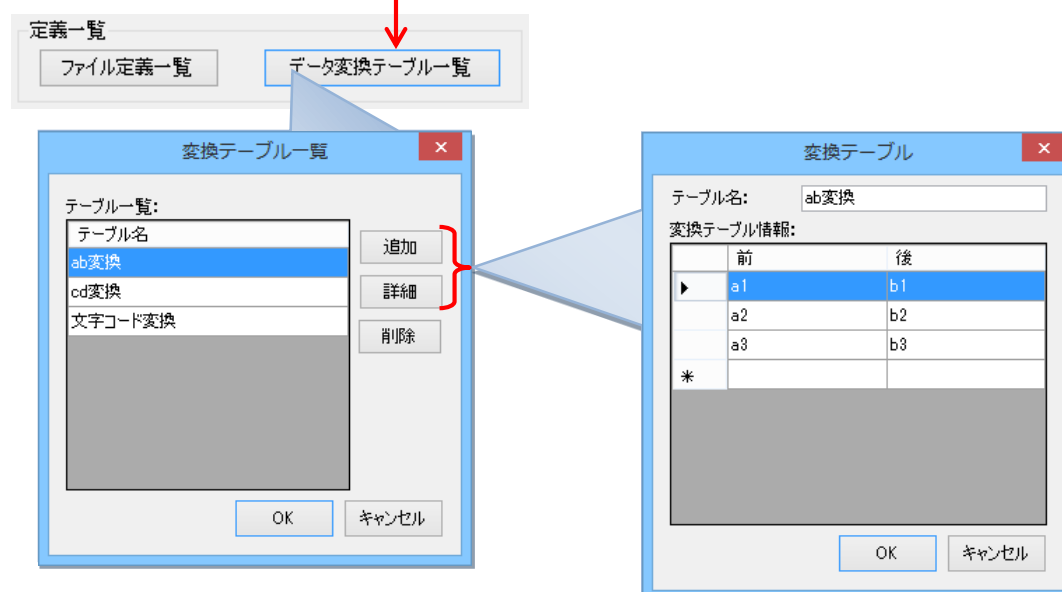
データ変換ルールを定義します。

データ変換機能を使用するには、変換フォーマットの定義が必要です。定義一覧よりファイル定義とデータ変換テーブルの定義を行います。

入力／出力ファイルの定義を登録します。



データ変換テーブルを登録します。



3.3.3 ファイル送信

ファイルの送信処理の設定を行います。ファイル送信時には、UNC(「¥¥SRV001¥DATA」等、先頭に”¥¥”を用いる記法)を用いてネットワーク上の他端末の共有フォルダーを指定することが可能です。送信失敗の場合に処理を再試行するリトライ機能があります。

The screenshot shows the 'ファイル送信設定' (File Transfer Settings) dialog box. It contains the following fields and sections:

- コメント:** A text box containing 'ファイルを送信する' (Send file).
- 処理対象ファイル:** Radio buttons for '前ジョブで処理したファイル' (File processed in previous job), 'トリガーとなったファイル' (File that triggered), and '指定' (Specify). The '指定' option is selected.
- 対象ファイル一覧:** A table with columns 'パス名' (Path name), '正規表現' (Regular expression), and 'ファイル名' (File name). It contains one row with a '*' in the 'パス名' column. Below the table is a note: '※正規表現はファイル名でのみ使用可能です' (Regular expression can only be used with file name).
- 送信先:** A text box containing '¥¥SRV001¥DATA'.
- 認証情報:** A checked checkbox '認証を行う' (Perform authentication), a text box 'ユーザー:' containing 'User1', and a text box 'パスワード:' containing '*****'.
- 再試行:** A text box '回数:' containing '3' and a text box '再試行間隔(秒):' containing '30'.
- 送信履歴:** A text box '格納先:' containing 'C:\DATA¥履歴' and a text box '保持数:' containing '4'.
- 削除オプション:** A checked checkbox '送信したファイルを削除する' (Delete sent file).

Annotations with red arrows point to the following fields:

- ジョブのコメントを入力します。 (Enter job comment.)
- 送信するファイルを指定します。 (Specify file to send.)
- 送信先のフォルダーを指定します。 (Specify destination folder.)
- 共有フォルダーの認証情報を指定します。 (Specify authentication information for shared folder.)
- 送信に失敗した場合の再試行回数と間隔を指定します。 (Specify number of retries and interval when transmission fails.)
- 送信履歴の格納先と保持数を指定します。ファイルの世代管理に使用します。 (Specify storage location and retention count for transmission history. Used for file generation management.)
- 送信元のファイルを削除します。 (Delete file from source.)

3.3.4 ファイル圧縮／解凍

ファイルの圧縮処理の設定を行います。

The screenshot shows the 'ファイル圧縮設定' (File Compression Settings) dialog box. It includes a 'コメント' (Comment) field, a '処理対象ファイル' (Target File) section with radio buttons for '前ジョブで処理したファイル' (File processed in previous job), 'トリガーとなったファイル' (File that triggered), and '指定' (Specify). Below is a table for '対象ファイル一覧' (Target File List) with columns 'パス名' (Path name), '正規表現' (Regular expression), and 'ファイル名' (File name). A '圧縮先ファイルパス' (Compression destination file path) field is present, along with checkboxes for '上書き' (Overwrite) and '圧縮元のファイルを削除' (Delete source files after compression). The dialog has 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

Annotations for the compression settings dialog:

- ジョブのコメントを入力します。
- 圧縮するファイルを指定します。
- 圧縮先のファイルパスを指定します。
- 圧縮先に既にファイルが存在した場合、上書きするかを指定します。
- 圧縮元のファイルを削除します。

ファイルの解凍処理の設定を行います。

The screenshot shows the 'ファイル解凍設定' (File Decompression Settings) dialog box. It includes a 'コメント' (Comment) field, a '処理対象ファイル' (Target File) section with radio buttons for '前ジョブで処理したファイル' (File processed in previous job), 'トリガーとなったファイル' (File that triggered), and '指定' (Specify). Below is a table for '対象ファイル一覧' (Target File List) with columns 'パス名' (Path name), '正規表現' (Regular expression), and 'ファイル名' (File name). A '解凍先' (Decompression destination) field is present, along with checkboxes for '上書き' (Overwrite) and '解凍元ファイルを削除' (Delete source files after decompression). The dialog has 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

Annotations for the decompression settings dialog:

- ジョブのコメントを入力します。
- 解凍するファイルを指定します。
- 解凍先のフォルダーを指定します。
- 解凍先に既にファイルが存在した場合、上書きするかを指定します。
- 解凍元のファイルを削除します。

3.3.5 ファイル暗号化／復号化

ファイルの暗号化処理の設定を行います。

ファイル暗号化設定

コメント: 送信データを暗号化する

処理対象ファイル

☒ 前ジョブで処理したファイル

☐ トリガーとなったファイル

☐ 指定

パス名	正規表現	ファイル名
*		

※正規表現はファイル名でのみ使用可能です

OK キャンセル

ジョブのコメントを入力します。

暗号化するファイルを指定します。

ファイルの復号化処理の設定を行います。

ファイル復号化設定

コメント: 受信データを復号化する

処理対象ファイル

☒ 前ジョブで処理したファイル

☐ トリガーとなったファイル

☐ 指定

パス名	正規表現	ファイル名
*		

※正規表現はファイル名でのみ使用可能です

OK キャンセル

ジョブのコメントを入力します。

復号化するファイルを指定します。

3.3.6 コマンド実行

スケジュールなどのトリガーにより外部プログラムを起動する機能です。外部プログラムはファイル連携ツールのサービスから実行されますので、画面は表示されません。そのため、ユーザーからの入力が必要とするようなプログラムを実行すると、プログラムの実行を完了させる事ができないため注意してください。

コマンド実行設定

コメント: サーバのデータを抽出する

処理対象ファイル

- ☐ 対象ファイル無し
- ☒ 前ジョブで処理したファイル
- ☐ トリガーとなったファイル
- ☐ 指定

対象ファイル一覧

パス名	正規表現	ファイル名
*		

※正規表現はファイル名でのみ使用可能です

コマンド: C:\DATA\sample.exe

引数: dataout

作業フォルダー: C:\test

OK キャンセル

ジョブのコメントを入力します。

処理対象のファイルを指定します。
対象ファイルが存在しない場合、「対象ファイル無し」を指定します。

実行するコマンドを指定します。

引数がある場合は指定します。

作業フォルダーが必要な場合は指定します。

<コマンドの引数: <files> の設定例>

コマンド実行設定

コメント: CSVファイルを開く

処理対象ファイル

- ☐ 対象ファイル無し
- ☐ 前ジョブで処理したファイル
- ☐ トリガーとなったファイル
- ☒ 指定

対象ファイル一覧

パス名	正規表現	ファイル名
C:\DATA		個人データ.csv

※正規表現はファイル名でのみ使用可能です

コマンド: C:\Program Files\sakura\sakura.exe

引数: <files>

作業フォルダー: C:\test

対象ファイルのパスを指定した場合と同じ動作をします。

引数: C:\DATA\個人データ.csv

＜ユーザー入力が必要な外部プログラムを実行してしまった場合＞

ユーザー入力が必要な外部プログラムを実行してしまった場合には、Windows のタスクマネージャーを使用して、該当の外部プログラムを終了してください。なお、ファイル連携ツールは外部プログラムを System ユーザーで実行しています。対象の外部プログラムが表示されない場合はタスクマネージャーを操作して表示されるようにする必要があります。

3.4 エラー発生時ジョブの設定

ジョブネット内のジョブでエラーが発生した際に実行されるジョブを設定します。本設定によりエラー発生時に指定の処理を実行することが可能です。設定内容は「3.3 ジョブ設定」で行う内容と同じです。

ジョブネット詳細

ジョブネット名: ファイルコピー

コメント: AファイルをBフォルダにコピーする

有効: はい

トリガー種別: ファイル受信

ジョブ設定

ジョブでエラー発生時に実行するジョブ:

なし

ジョブでエラー発生時に実行するジョブ:

ジョブ一覧:

No.	ジョブ
1	ファイルコピー
2	ファイル移動

追加

詳細

削除

上へ

下へ

OK

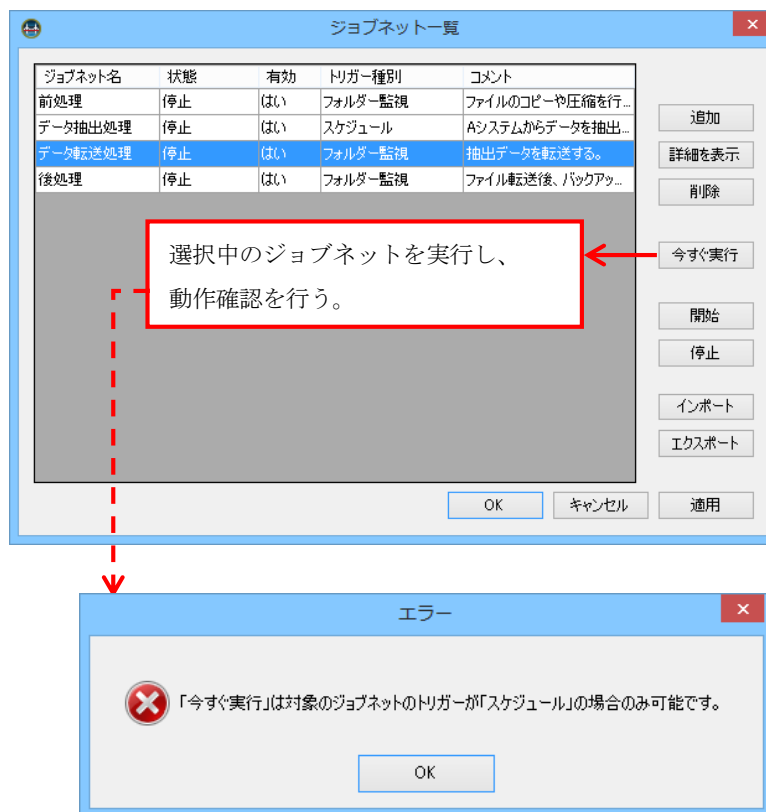
キャンセル

エラー発生時に行うジョブの設定画面を開きます。「なし」以外が選択されている場合のみ、ボタンを押すことが可能です。

エラー発生時に行う処理を選択します。ジョブを実行する場合は「なし」以外を選択後、「詳細」ボタンをクリックし、詳細設定を行います。

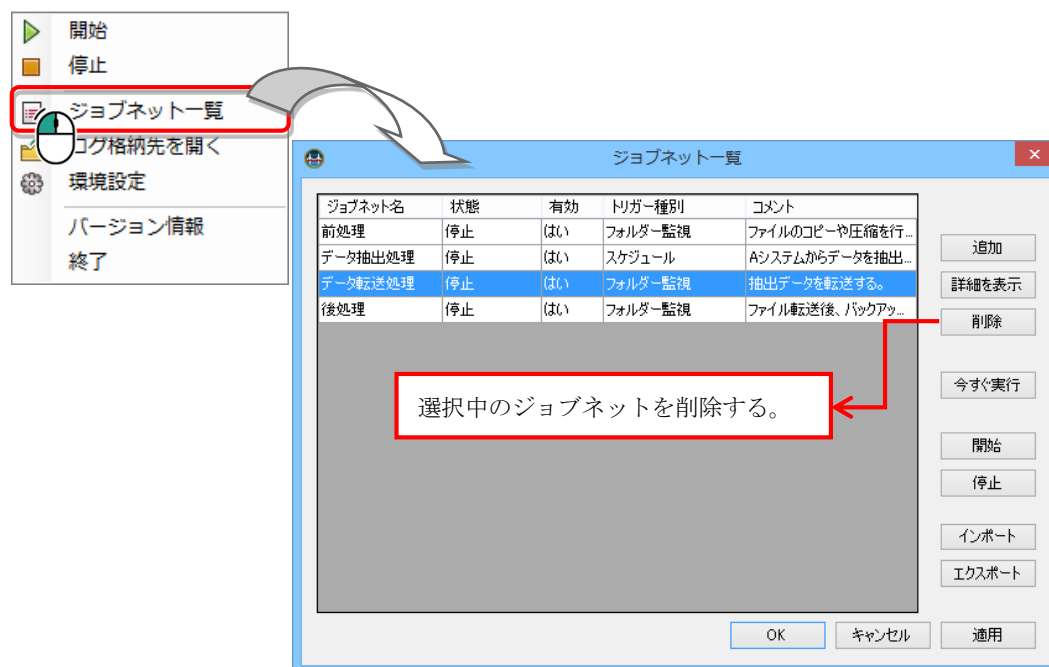
3.5 ジョブネットの動作確認

「今すぐ実行」ボタンは、停止中のジョブネットを実行し動作確認を行える機能です。ジョブネットのトリガー種別がスケジュールの場合のみ実行が可能です。



4 ジョブネットの削除

登録済みのジョブネットを削除する場合、該当するジョブネットを選択し「削除」ボタンをクリックします。



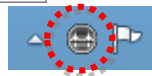
5 ジョブネットの開始／停止

操作メニューから全てのジョブネットに対して開始／停止を行います。開始を選択すると、停止中の全てのジョブネットに対して開始要求が行われます。停止を選択すると、実行中の全てのジョブネットに対して停止要求が行われ、順次ジョブを停止します。または、ジョブネット一覧画面から個別に開始／停止を行うこともできます。

5.1 全開始

「開始」をクリックすると、有効なジョブネットに対し開始要求が行われ、順次ジョブを実行中にします。

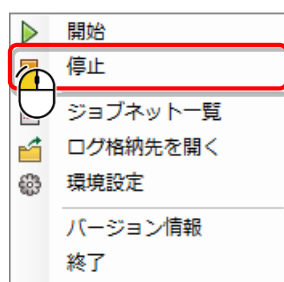
<操作メニュー>



5.2 全停止

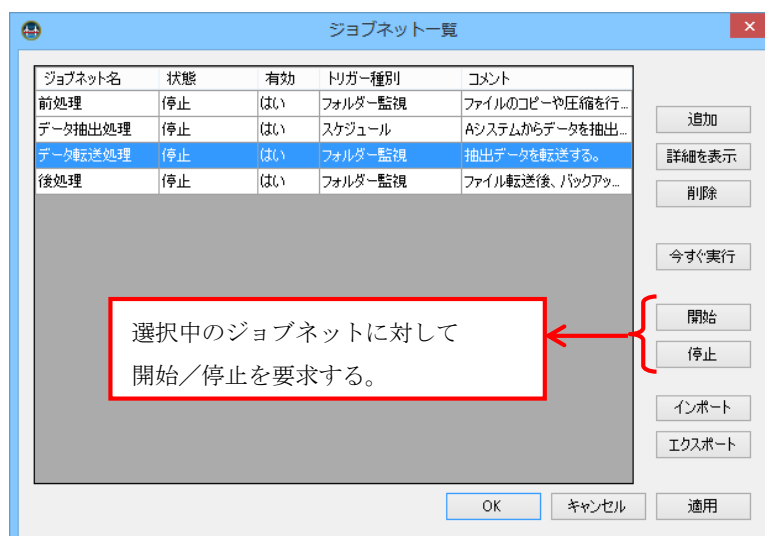
「停止」をクリックすると、実行中の全てのジョブネットに対して停止要求が行われ、順次ジョブを停止します。

<操作メニュー>



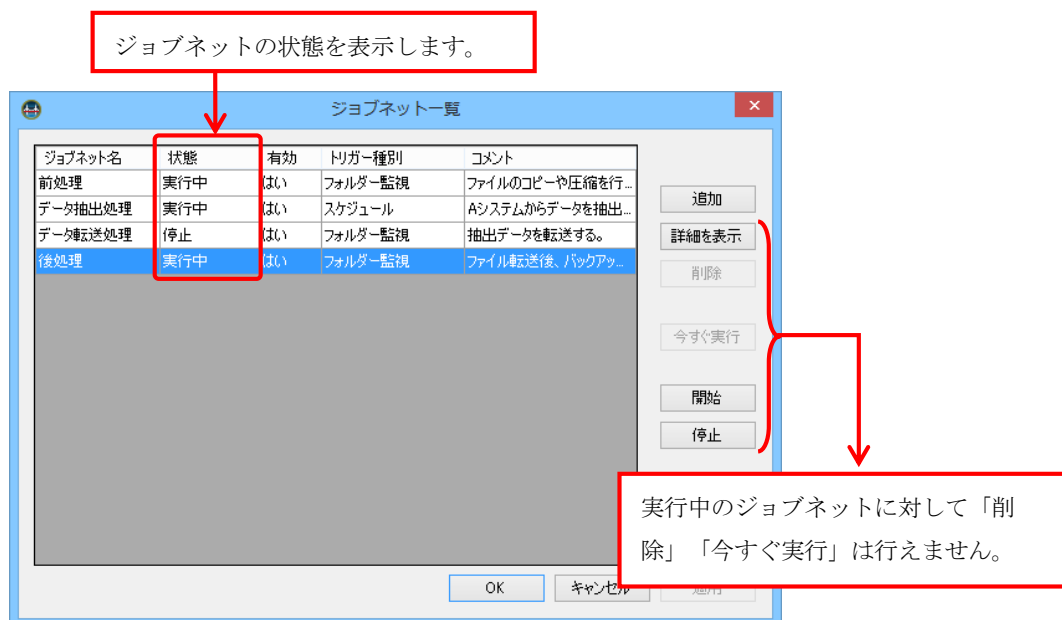
5.3 ジョブネット毎の開始/停止

各ジョブネットに対して個別に開始/停止を行う場合、ジョブネット一覧から行います。



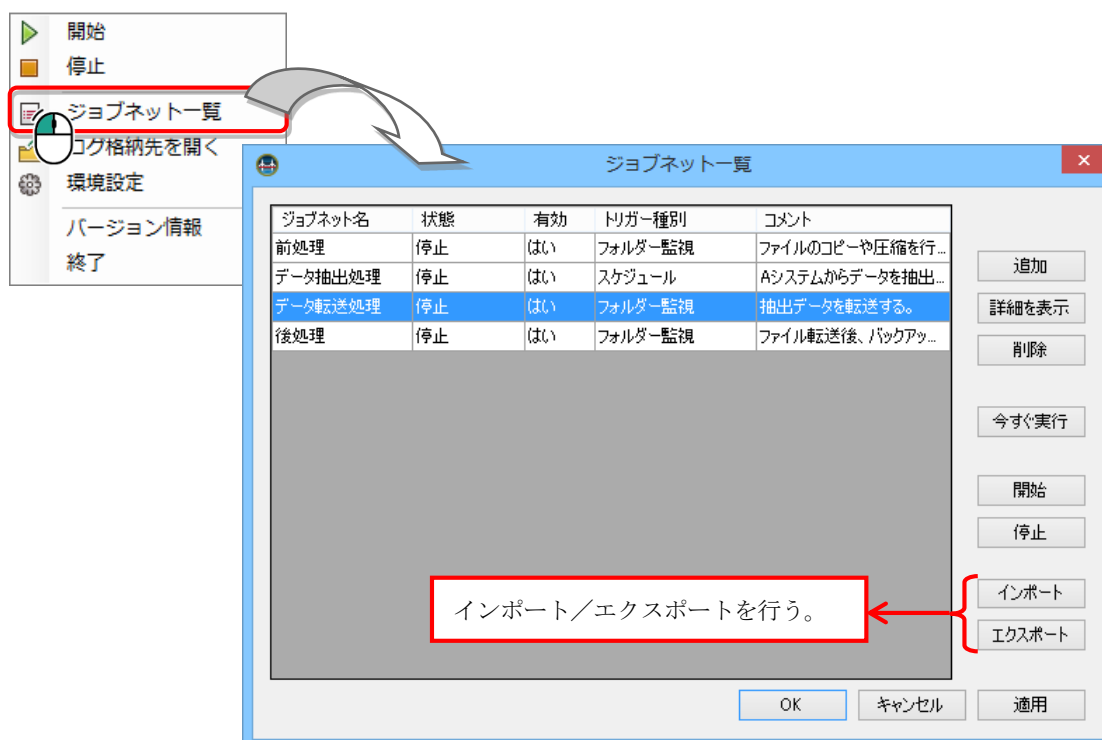
6 ジョブネットの状態確認

ジョブネット一覧から各ジョブネットの状態が確認できます。実行中のジョブネットは、設定の参照のみ行えます。



7 ジョブネット設定のインポート／エクスポート

ジョブネット設定のすべてをインポート、エクスポートを行うことができます。



7.1 インポート

「インポート」をクリックすると、ファイルを選択するダイアログが表示されます。「エクスポート」で作成したファイルを選択するとインポート処理が実行されます。インポート処理が正常に終わると、インポートしたファイルに記述されたジョブネット設定内容がジョブネット一覧に表示されます。

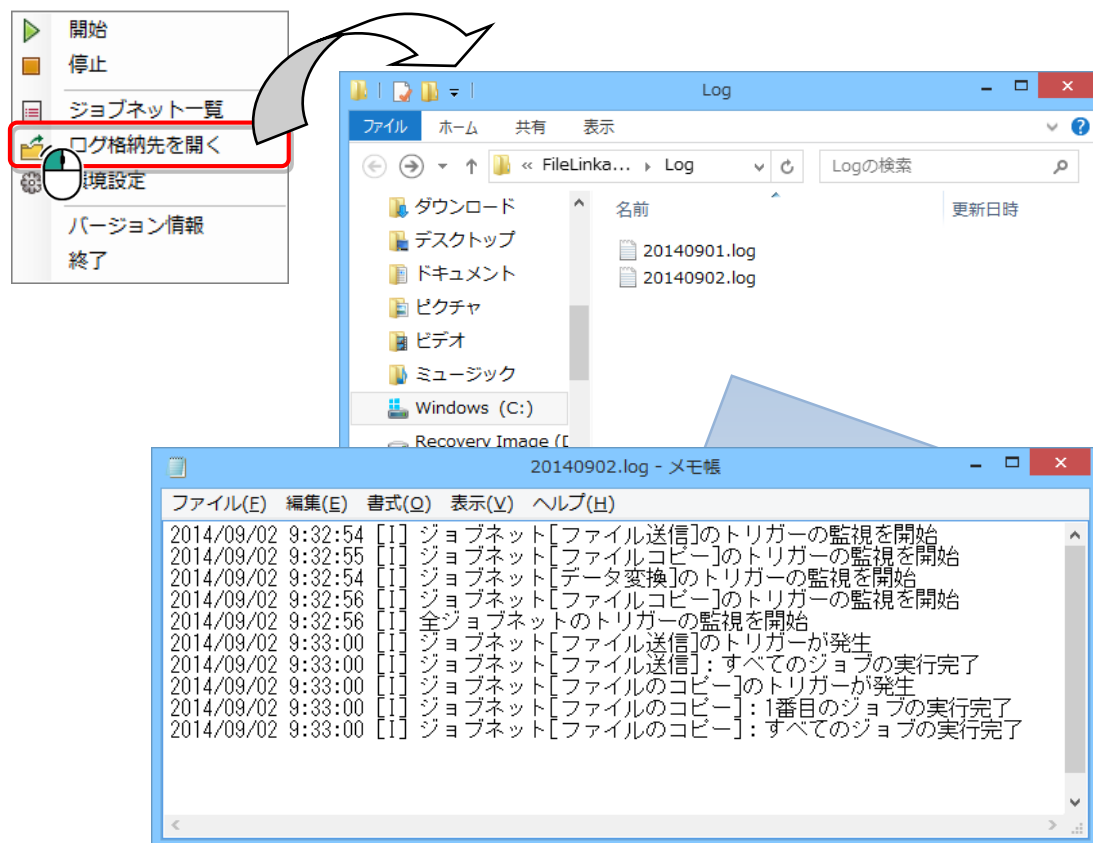
別端末でエクスポートされたファイルをインポートした場合、ジョブネットで設定されているフォルダーやファイルが存在しないなどの理由により、「OK」や「適用」のクリック時にエラーが発生することがあります。

7.2 エクスポート

「エクスポート」をクリックすると、ジョブネット設定データの出力先となるファイルを選択するダイアログが表示されます。出力先ファイルを選択すると、エクスポート処理が実行されます。

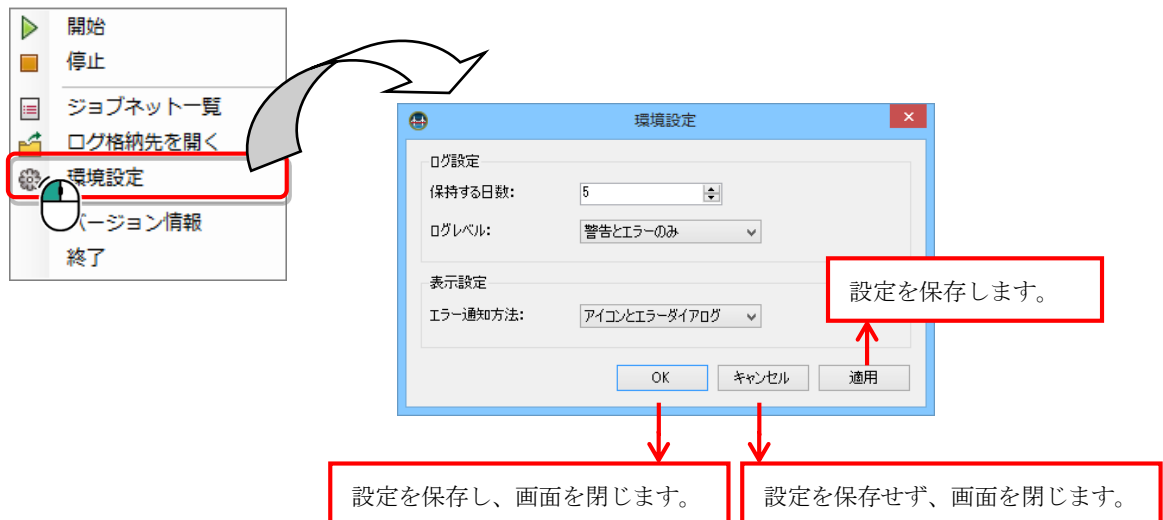
8 ログ格納先を開く

ログファイルの格納先フォルダーを開きます。格納先フォルダー内のログファイルには、動作の情報やエラー内容が出力されます。



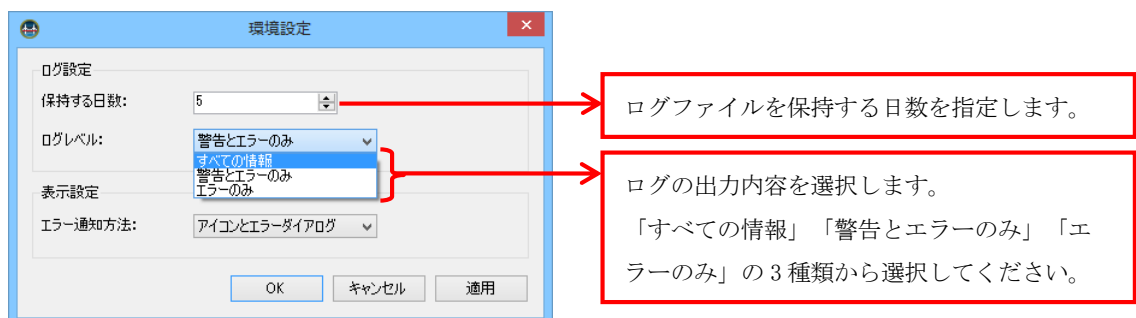
9 環境設定

環境設定では、ログ設定と表示設定を行います。環境設定は、ファイル連携ツールのジョブネットが全て停止中の状態でのみ設定変更が可能です。タスクトレイのアイコンが動作中の場合、設定の変更はできません。



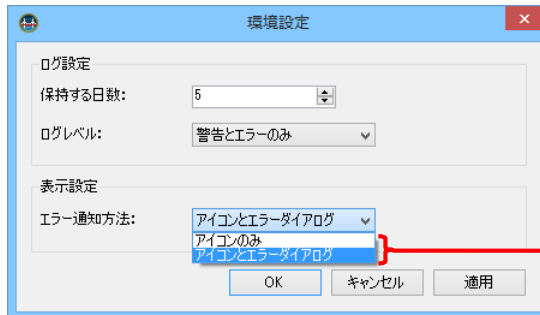
9.1 ログ設定

ジョブネットの起動や実行結果をファイルに出力する機能です。ログファイルを保持する日数や出力内容を設定します。



9.2 表示設定

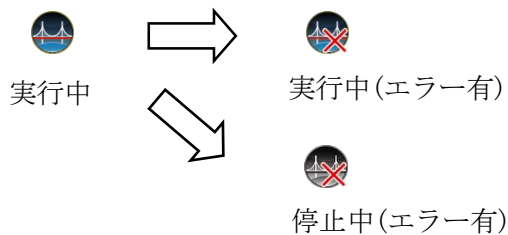
ジョブネット実行中にエラーが発生した場合、エラー通知でお知らせします。エラー通知は、アイコンとエラーダイアログの2種類の通知方法を用意しています。



エラー発生時の通知方法を指定します。
「アイコンのみ」「アイコンとエラーダイアログ」のどちらかを選択してください。

9.2.1 アイコン

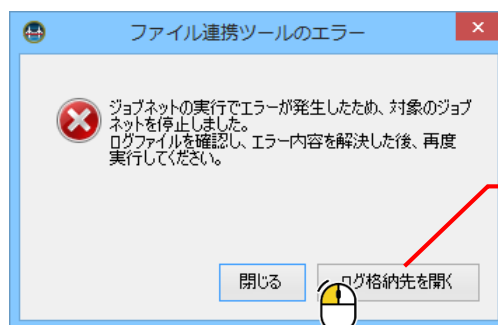
エラーが発生した場合、タスクトレイのアイコンでエラー発生をお知らせします。



エラー発生後、ログファイルを開き、
エラー内容を確認してください。

9.2.2 エラーダイアログ

エラーが発生した場合、ダイアログを表示しエラー発生をお知らせします。



エラー発生後、ログファイルを開き、
エラー内容を確認してください。

10 バージョン情報

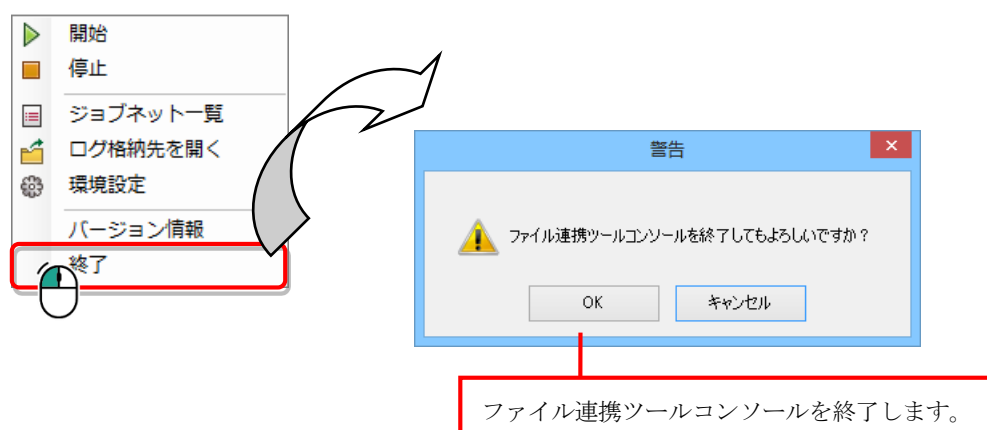
ファイル連携ツールのバージョン情報を表示します。



11 終了

ファイル連携ツールコンソールを操作メニューから終了します。操作メニューの「終了」を選択すると、確認メッセージが表示されます。

ジョブネット実行機能は Windows サービスとして動作していますので、本操作にてアプリケーションを終了してもジョブネットはバックグラウンドで継続して動作します。



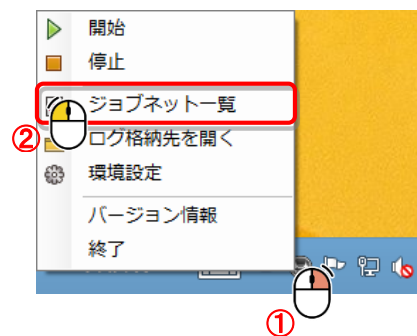
第4章 運用ガイド

1 ファイルを送信する

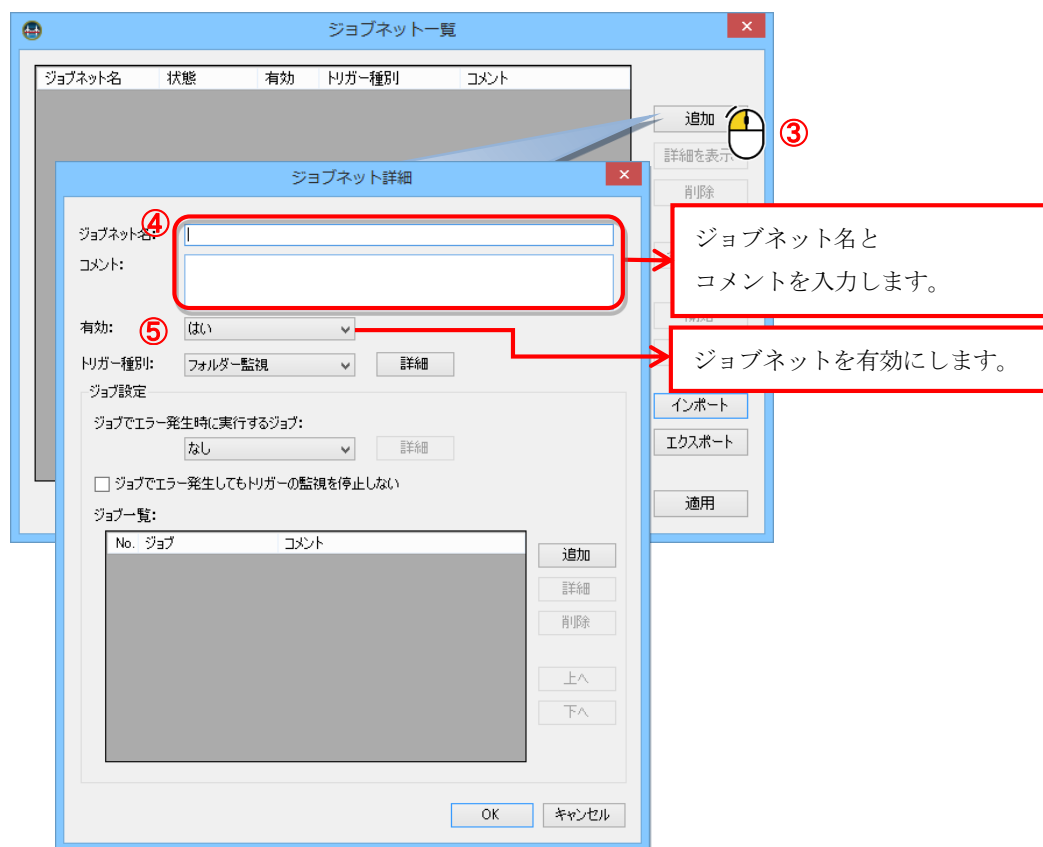
指定時間（月～金曜日の9時～17時まで2時間おき）にファイル送信する設定手順を説明します。

1.1 ジョブネットの追加

ファイル連携ツールのアイコンを右クリックし、操作メニューの「ジョブネット一覧」を選択します。ジョブネット一覧画面を表示します。



ジョブネット一覧画面の「追加」ボタンをクリックし、ジョブネット詳細画面を表示します。



1.2 スケジュール設定

スケジュール起動の場合、トリガー種別からスケジュールを選択し「詳細」ボタンをクリックします。スケジュール設定画面より、月～金曜日の9時～17時まで2時間おきに実行されるように設定します。

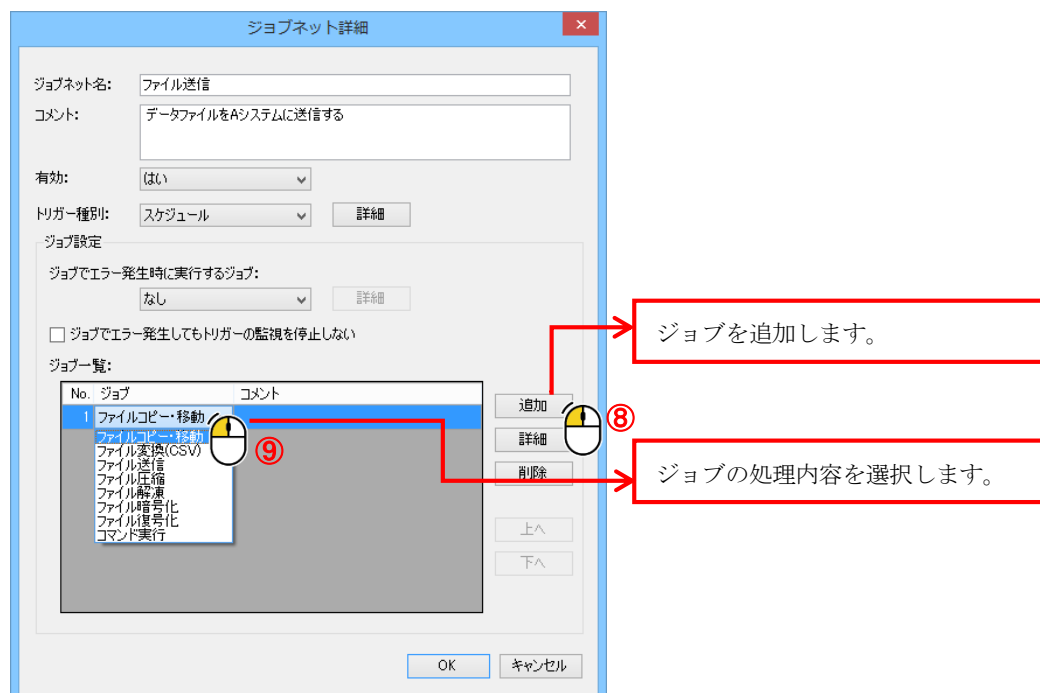


1.3 ジョブ設定

ファイル送信に関連する処理をジョブ設定に定義し、ジョブネットを作成します。

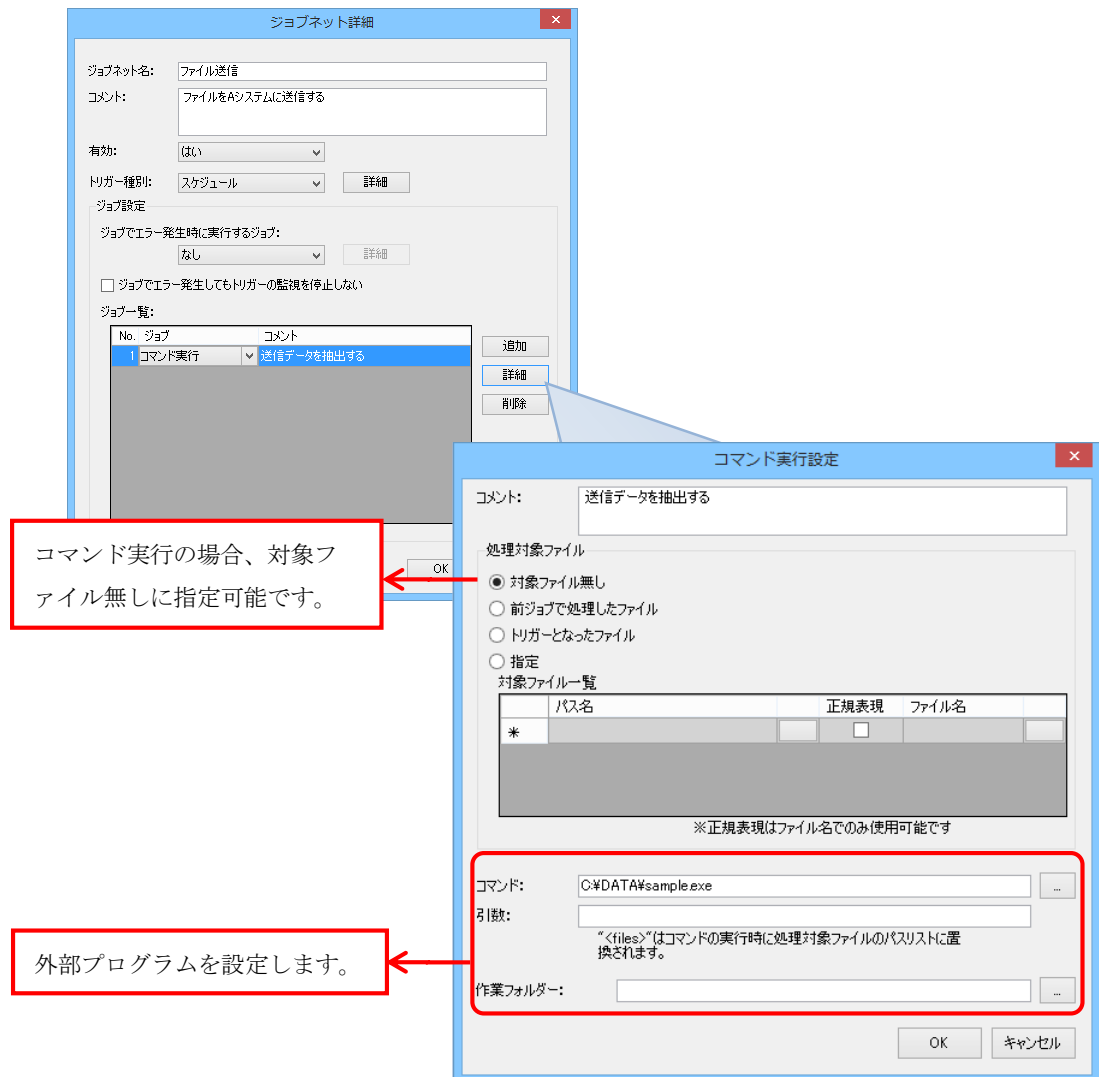


ジョブ設定にジョブを追加し、処理を選択します。



1.3.1 データ抽出

ジョブの「コマンド実行」機能を使用し、システムやサーバーから送信元のデータを抽出します。「コマンド実行」とは、ファイル連携ツールから外部プログラムやバッチ処理を実行する機能です。「コマンド実行」では、実行した外部プログラムが終了するまで待ちます。終了後、次のジョブを開始します。



1.3.2 データ変換

ジョブの「ファイル変換」機能を使用し、抽出した CSV ファイルのデータ変換処理を行います。「ファイル変換」設定では、CSV ファイルのデータに対し、列の入れ替えや文字コード変換を行うことができます。変換設定の前に、入出力ファイルの定義と変換テーブルの定義が必要です。

The image shows two overlapping windows from a software application. The background window is 'ジョブネット詳細' (Job Network Details) and the foreground window is 'ファイル変換設定' (File Conversion Settings). Red boxes and arrows highlight specific settings in the foreground window, with corresponding Japanese text annotations.

ジョブネット詳細 (Job Network Details):

- ジョブネット名: ファイル送信
- コメント: ファイルをAシステムに送信する
- 有効: はい
- トリガー種別: スケジュール
- ジョブ設定:
 - ジョブでエラー発生時に実行するジョブ: なし
 - ☐ ジョブでエラー発生してもトリガーの監視を停止しない
 - ジョブ一覧:

No.	ジョブ	コメント
1	コマンド実行	送信データを抽出する
2	ファイル変換(CSV)	

ファイル変換設定 (File Conversion Settings):

- コメント: 抽出データを変換する
- 処理対象ファイル:
 - ☐ 前ジョブで処理したファイル
 - ☐ トリガーとなったファイル
 - ☒ 指定
- 対象ファイル一覧:

	パス名	正規表現	ファイル名
▶	C:\DATA\抽出データ	☒	data00*.csv
*		☐	

※正規表現はファイル名でのみ使用可能です
- 入出力ファイルの関連付け:
 - 出力ファイルの定義: Aファイル
 - 入力ファイルの定義: Bファイル
- 入力/出力ファイルの列の関連付け一覧:

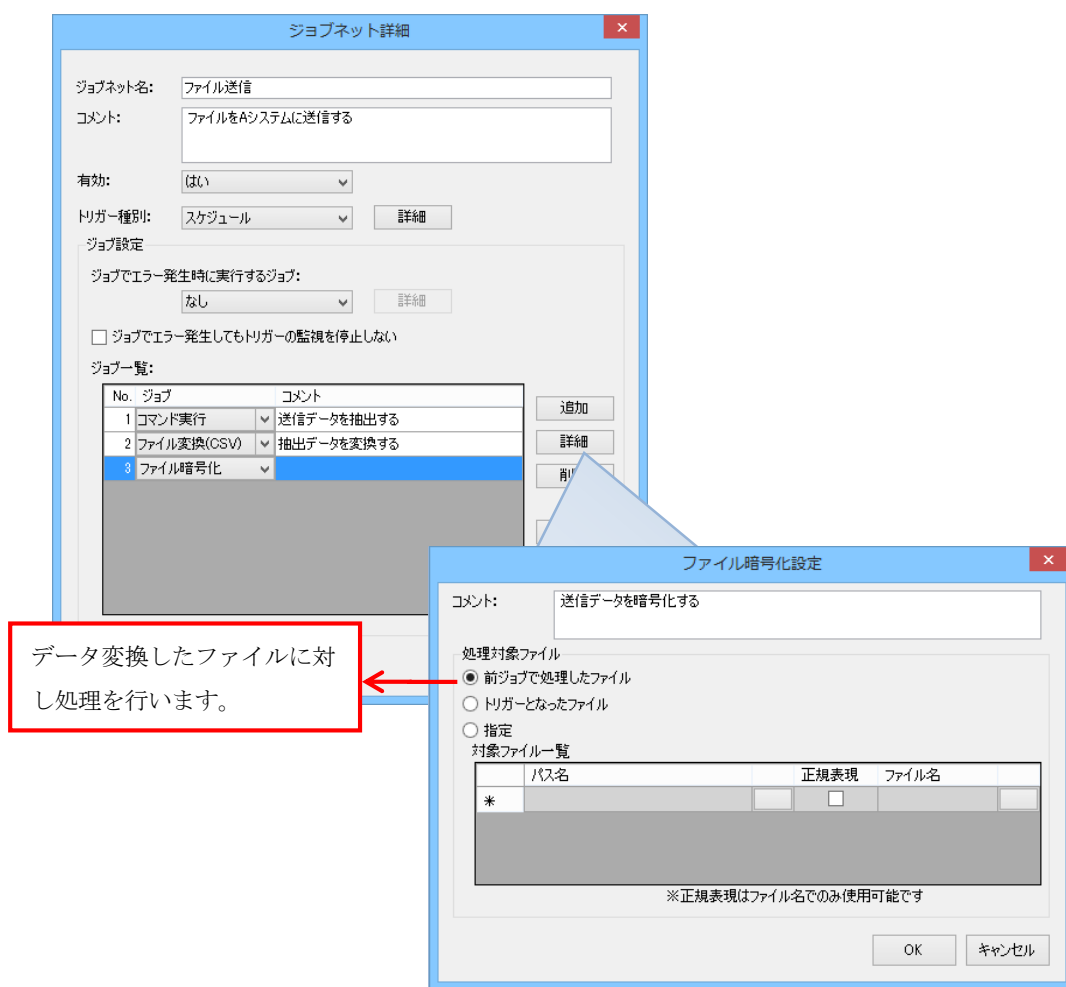
出力列名	入力列名	データ変換テーブル	変換エラー
code	code	変換なし	無視する
data	data	変換なし	無視する
out1	in1	ac変換テーブル	停止する
out2	in2	Eタイプ変換テーブ...	無視する
out3	in3	変換なし	無視する
- 定義一覧:
 - ファイル定義一覧
 - データ変換テーブル一覧

Annotations (Red boxes and arrows):

- 抽出したデータファイルに対し処理を行います。
- 事前に登録した定義一覧から選択します。
- 出力列と入力列の関連付けを設定します。
- ファイル、変換テーブルの定義を行います。

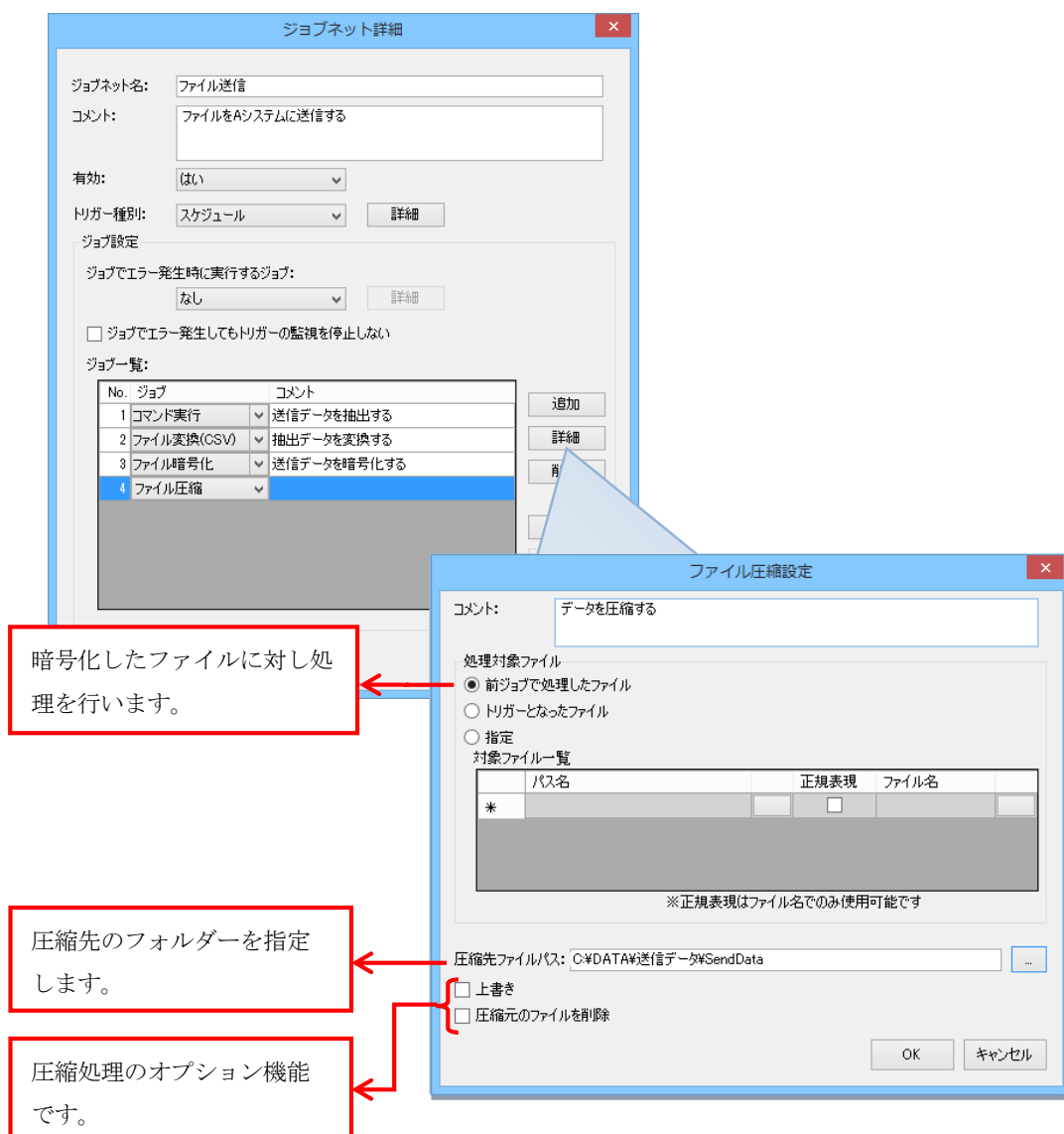
1.3.3 ファイル暗号化

ジョブの「ファイル暗号化」機能を使用し、変換後のファイルを暗号化します。



1.3.4 ファイル圧縮

データ変換したファイルを送信する前に圧縮します。タスクの「ファイル圧縮」機能を使用します。



1.3.5 ファイル送信

ジョブの「ファイル送信」機能を使用し、ファイルを送信します。バックアップ機能として、送信ファイルを格納先に指定したフォルダーに1~1000 ファイルまで保持することができます。

The image shows two overlapping windows from a software interface. The background window is 'ジョブネット詳細' (Job Details) and the foreground window is 'ファイル送信設定' (File Transfer Settings). Red callout boxes with arrows point to specific fields in the 'File Transfer Settings' window, providing instructions in Japanese.

ジョブネット詳細 (Job Details) Window:

- ジョブネット名: ファイル送信
- コメント: ファイルをAシステムに送信する
- 有効: はい
- トリガー種別: スケジュール
- ジョブ設定:
 - ジョブでエラー発生時に実行するジョブ: なし
 - ☐ ジョブでエラー発生してもトリガーの監視を停止しない
- ジョブ一覧 (Job List):

No.	ジョブ	コメント
1	コマンド実行	送信データを抽出する
2	ファイル変換(CSV)	抽出データを変換する
3	ファイル暗号化	送信データを暗号化する
4	ファイル圧縮	データを圧縮する
5	ファイル送信	

ファイル送信設定 (File Transfer Settings) Window:

- コメント: ファイルを送信する
- 処理対象ファイル:
 - ☒ 前ジョブで処理したファイル
 - ☐ トリガーとなったファイル
 - ☐ 指定
- 対象ファイル一覧 (Target File List):

パス名	正規表現	ファイル名
*		

※正規表現はファイル名でのみ使用可能です
- 送信先 (Destination):
 - 送信先: \\SRV001\DATA
 - ☒ 認証を行う
 - ユーザー: User1
 - パスワード: *****
- 再試行 (Retries):
 - 回数: 3
 - 再試行間隔(秒): 60
- 送信履歴 (Transfer History):
 - 格納先: C:\DATA\送信履歴
 - 保持数: 1000
 - ☐ 送信したファイルを削除する

Callout Boxes (from left to right):

- 圧縮したファイルに対し処理を行います。
- 送信先のパスを指定します。
- 送信先のパスへの認証情報を指定します。
- 再試行の回数と間隔を指定します。
- バックアップ用の機能です。送信履歴の格納先と保持数を指定します。
- 送信元のファイルを削除するかどうか選択します。

1.3.6 バックアップ

ジョブの「ファイルコピー・移動」機能を使用し、ファイルをバックアップフォルダーに移動します。

The image shows two overlapping windows from a software interface. The background window is 'ジョブネット詳細' (Job Network Details) and the foreground window is 'ファイルコピー・移動設定' (File Copy/Move Settings).

ジョブネット詳細 (Job Network Details):

- ジョブネット名: ファイル送信
- コメント: ファイルをAシステムに送信する
- 有効: はい
- トリガー種別: スケジュール
- ジョブ設定:
 - ジョブでエラー発生時に実行するジョブ: なし
 - ☐ ジョブでエラー発生してもトリガーの監視を停止しない
- ジョブ一覧 (Job List):

No.	ジョブ	コメント
1	コマンド実行	送信データを抽出する
2	ファイル変換(CSV)	抽出データを変換する
3	ファイル暗号化	送信データを暗号化する
4	ファイル圧縮	データを圧縮する
5	ファイル送信	ファイルを送信する
6	ファイルコピー・移動	

ファイルコピー・移動設定 (File Copy/Move Settings):

- コメント: ファイルをバックアップする
- 処理対象ファイル:
 - ☒ 前ジョブで処理したファイル
 - ☐ トリガーとなったファイル
 - ☐ 指定
- 対象ファイル一覧 (Target File List):

パス名	正規表現	ファイル名
*		

※正規表現はファイル名でのみ使用可能です
- コピー先: C:\DATA\バックアップ
- 動作:
 - ☐ コピー
 - ☒ 移動
- ☒ コピー時に名前を変更する
 - ※正規表現を用いて指定してください
 - 変更条件一覧 (Change Condition List):

変更前	変更後
SendData	SendData_Backup
※	
- ☒ 上書きする

Annotations (Red boxes with arrows):

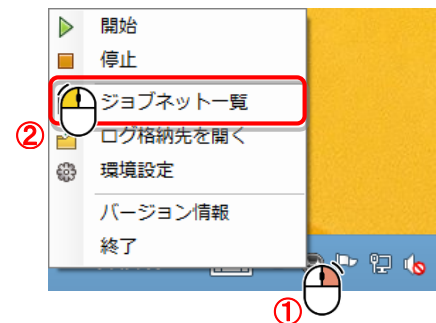
- 送信したファイルに対し処理を行います。 (Points to '前ジョブで処理したファイル')
- コピー先のパスを指定します。 (Points to 'C:\DATA\バックアップ')
- コピーか移動かを選択します。 (Points to '移動' radio button)
- コピー・移動処理のオプション機能です。 (Points to 'コピー時に名前を変更する' checkbox)

2 ファイルを受信する

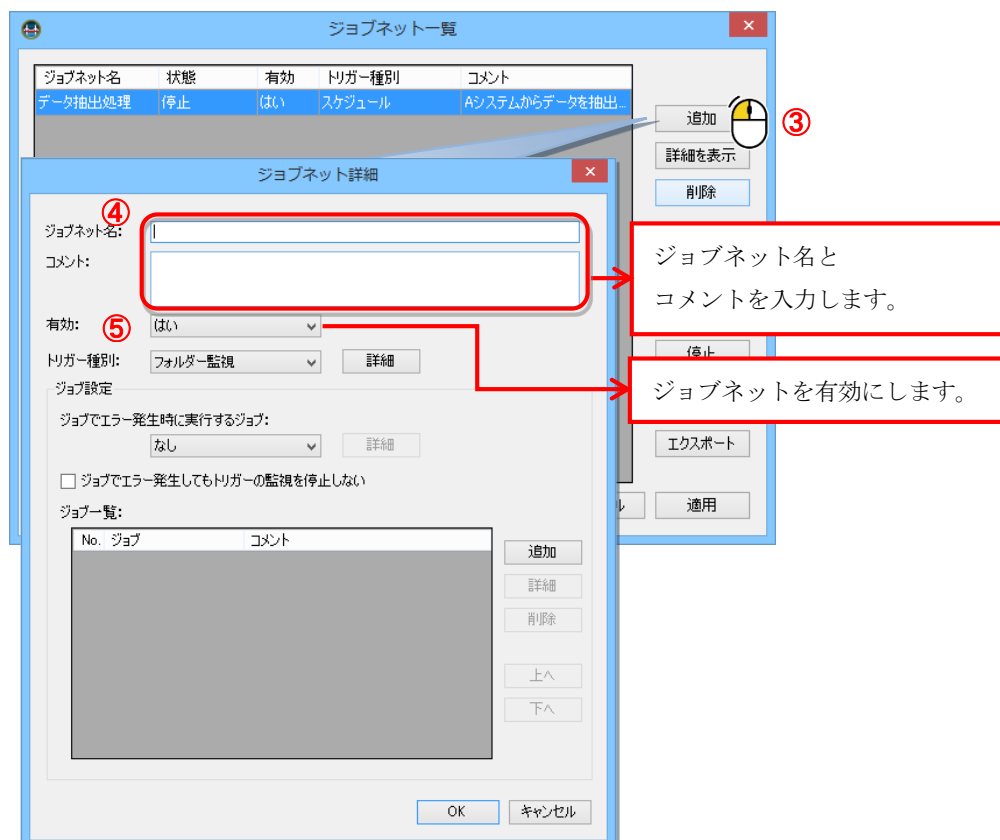
ファイル受信により起動するジョブネットの設定手順を説明します。

2.1 ジョブネットの追加

ジョブネット一覧画面の「追加」ボタンをクリックし、ジョブネット詳細画面を表示します。

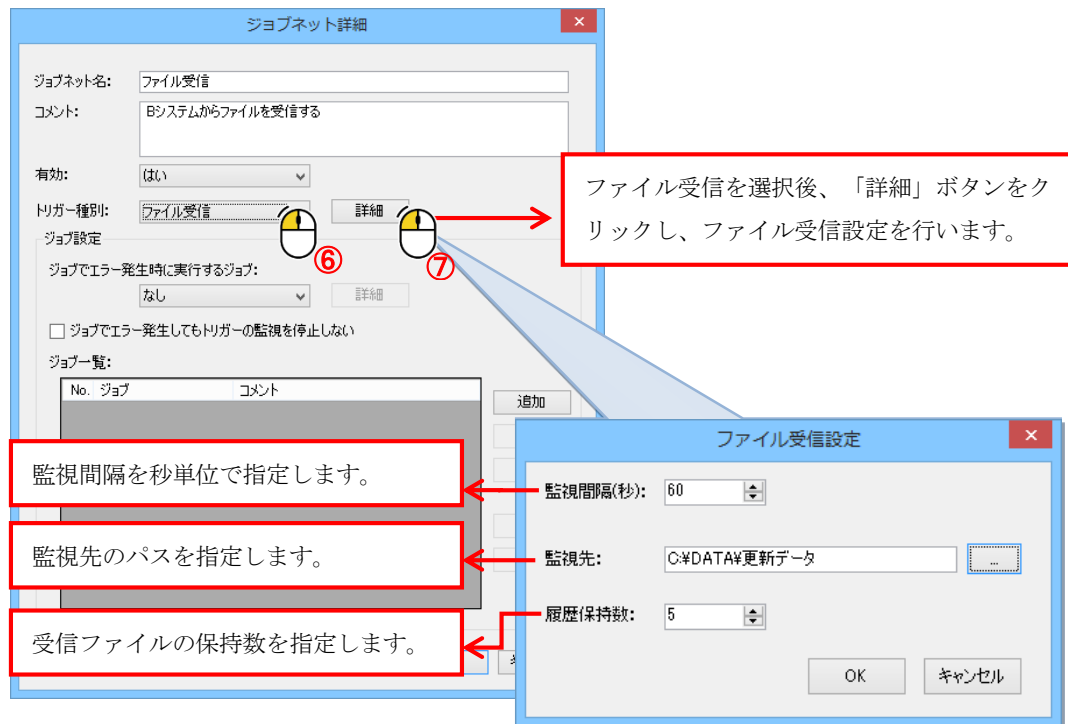


ジョブネット一覧画面の「追加」ボタンをクリックし、ジョブネット詳細画面を表示します。



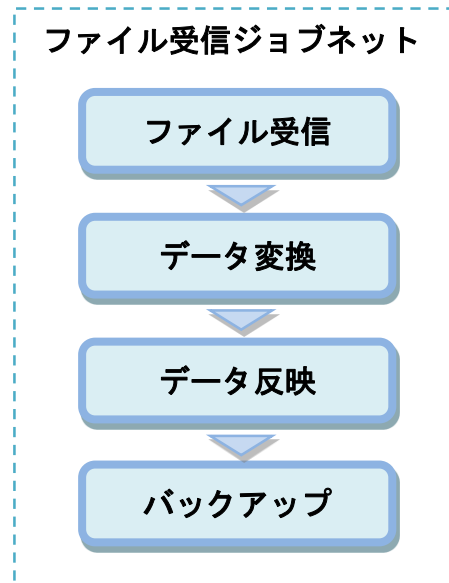
2.2 ファイル受信設定

ファイル受信による起動の場合、トリガー種別からファイル受信を選択し「詳細」ボタンをクリックします。ファイル受信設定画面より、監視間隔と監視先のフォルダーを指定します。バックアップ機能として、受信ファイルを監視先フォルダーに1~1000ファイルまで保持することができます。

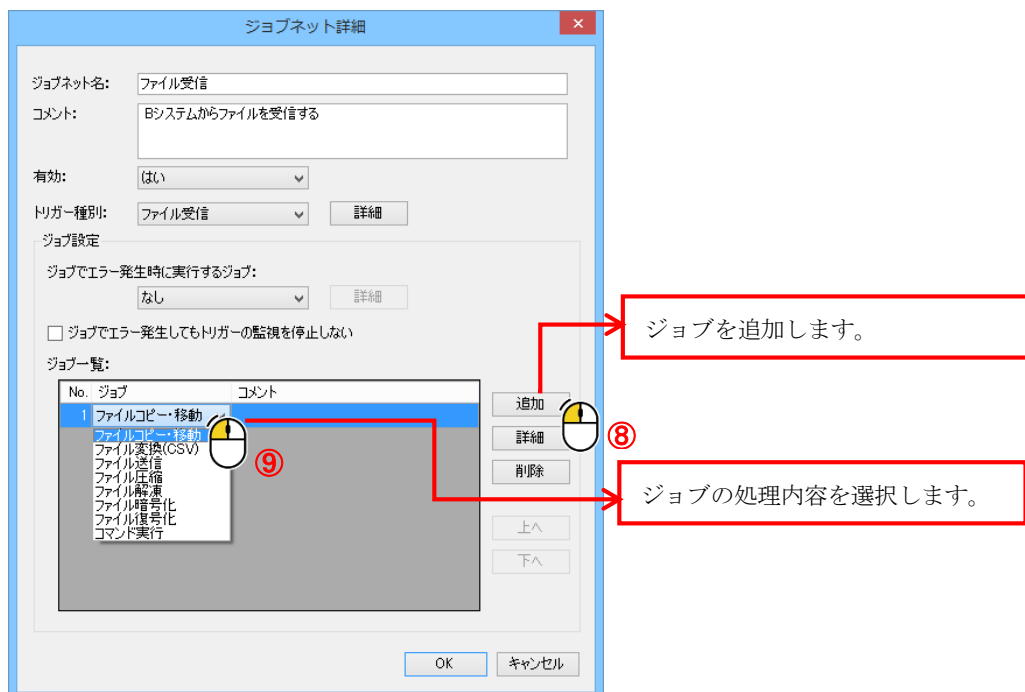


2.3 ジョブ設定

ファイル受信に関連する処理をジョブ設定に定義し、ジョブネットを作成します。

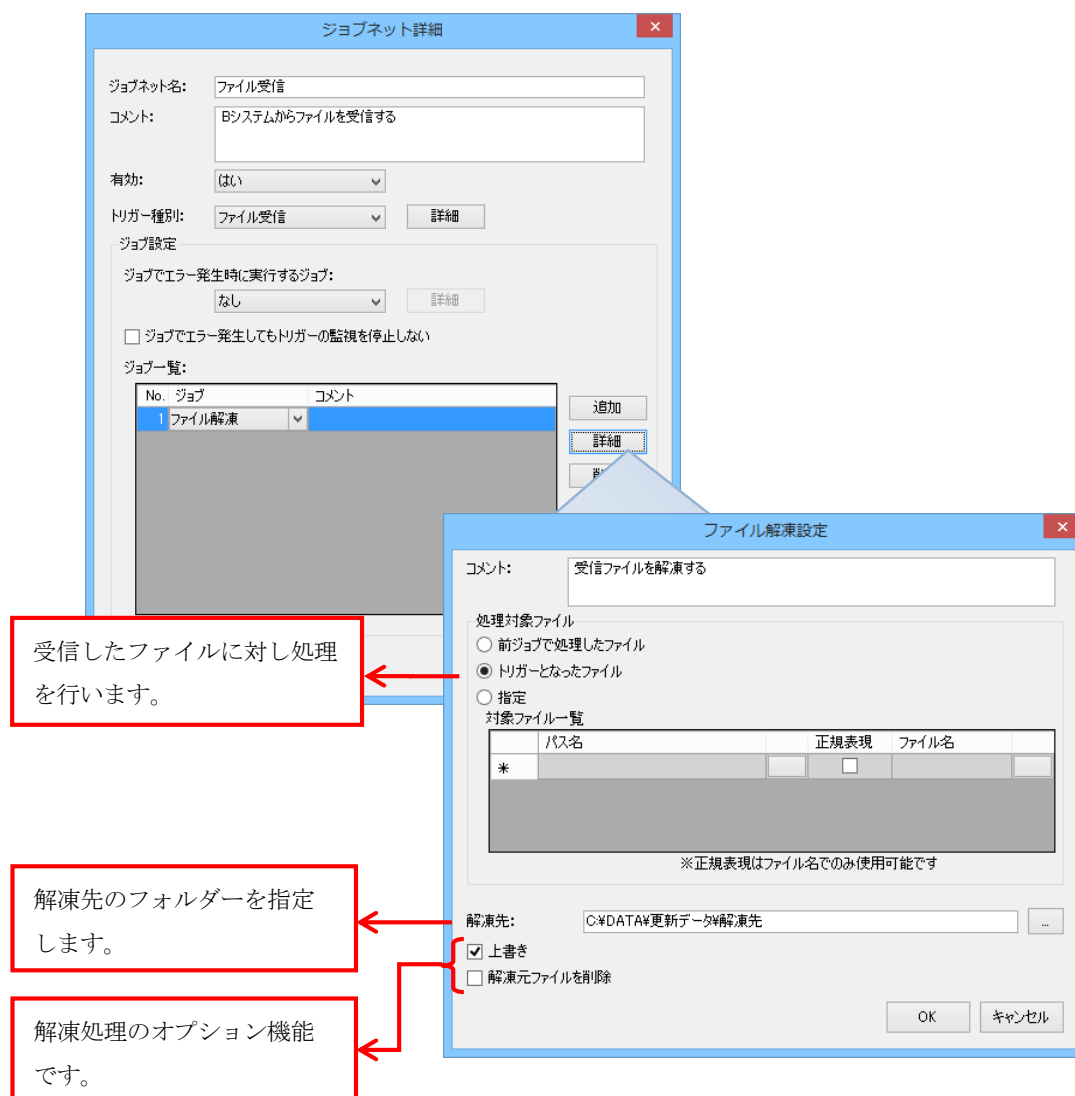


ジョブ設定にジョブを追加し、処理を選択します。



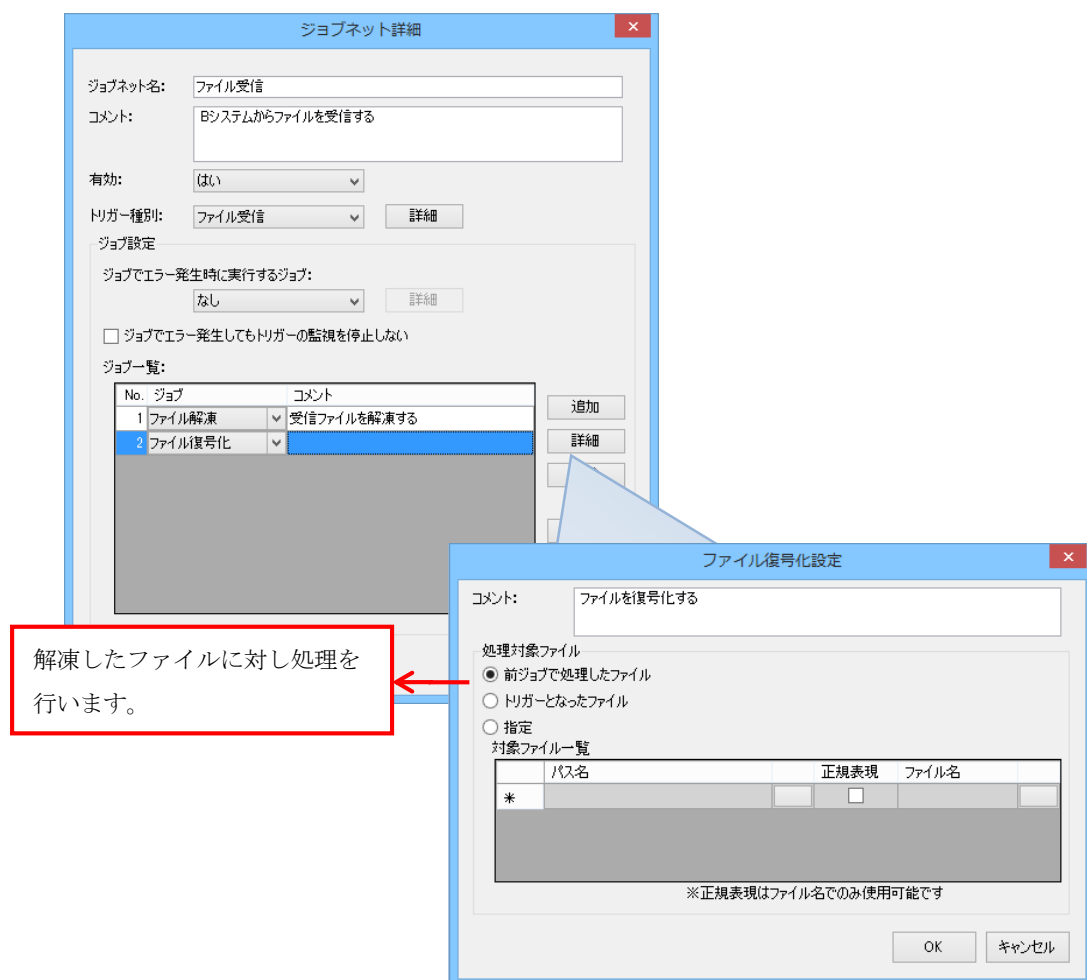
2.3.1 ファイル解凍

圧縮したファイルを受信する場合、ジョブの「ファイル解凍」機能を使用し、ファイル受信後に解凍処理を行います。



2.3.2 ファイル復号化

暗号化したファイルを受信する場合、ジョブの「ファイル復号化」機能を使用し、ファイル受信後に復号化処理を行います。



2.3.3 データ変換

ジョブの「ファイル変換」機能を使用し、復号化したファイルのデータを変換します。
「ファイル変換」設定では、CSV ファイルのデータに対し、列の入れ替えや文字コード変換を行うことができます。変換設定の前に、入出力ファイルの定義と変換テーブルの定義が必要です。

The image shows two overlapping windows from a software application. The background window is 'ジョブネット詳細' (Job Network Detail) and the foreground window is 'ファイル変換設定' (File Conversion Settings). Red boxes and arrows highlight specific settings and tables in the foreground window, with corresponding Japanese text annotations on the left.

ジョブネット詳細 (Job Network Detail):

- ジョブネット名: ファイル受信
- コメント: Bシステムからファイルを受信する
- 有効: はい
- トリガー種別: ファイル受信
- ジョブ設定:
 - ジョブでエラー発生時に実行するジョブ: なし
 - ☐ ジョブでエラー発生してもトリガーの監視を停止しない
- ジョブ一覧:

No.	ジョブ	コメント
1	ファイル解凍	受信ファイルを解凍する
2	ファイル復号化	ファイルを復号化する
3	ファイル変換(CSV)	

ファイル変換設定 (File Conversion Settings):

- コメント: 更新データを変換する
- 処理対象ファイル:
 - ☒ 前ジョブで処理したファイル
 - ☐ トリガーとなったファイル
 - ☐ 指定
- 対象ファイル一覧:

パス名	正規表現	ファイル名
*		

※正規表現はファイル名でのみ使用可能です
- 入出力ファイルの関連付け:
 - 出力ファイルの定義: Bファイル
 - 入力ファイルの定義: Aファイル
- 入出力ファイルの列の関連付け一覧:

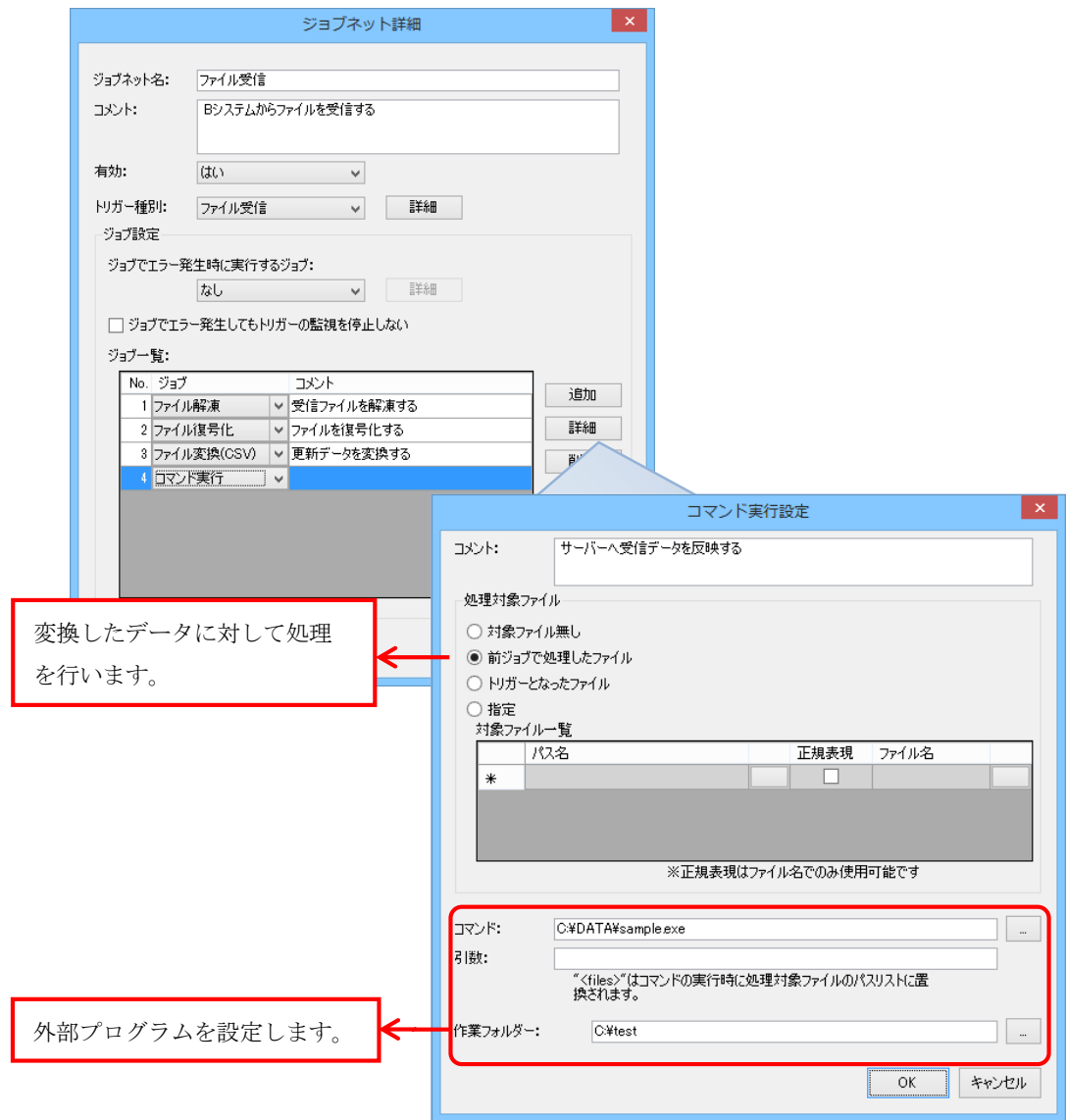
出力列名	入力列名	データ変換テーブル	変換エラー
code	code	変換なし	無視する
data	data	変換なし	無視する
in1	out1	ca変換テーブル	停止する
in2	out2	Eコード変換テーブル...	無視する
in3	out3	変換なし	無視する
- 定義一覧:
 - ファイル定義一覧
 - データ変換テーブル一覧

Annotations (Left side):

- 復号化したファイルに対し処理を行います。
- 事前に登録した定義一覧から選択します。
- 出力列と入力列の関連付けを設定します。
- ファイル、変換テーブルの定義を行います。

2.3.4 データ反映

ジョブの「コマンド実行」機能を使用し、受信データをシステムやデータサーバーへ反映します。「コマンド実行」では、実行した外部プログラムが終了するまで待ちます。終了後、次のジョブを開始します。



2.3.5 バックアップ

ジョブの「ファイルコピー・移動」機能を使用し、ファイルをバックアップフォルダーに移動します。

The image shows two overlapping windows from a software application. The background window is titled 'ジョブネット詳細' (Job Network Details) and contains fields for 'ジョブネット名' (Job Network Name), 'コメント' (Comment), '有効' (Valid), 'トリガー種別' (Trigger Type), and a 'ジョブ設定' (Job Settings) section with a dropdown for 'ジョブでエラー発生時に実行するジョブ' (Job to execute when an error occurs). The foreground window is titled 'ファイルコピー・移動設定' (File Copy/Move Settings) and contains fields for 'コメント' (Comment), '処理対象ファイル' (Target Files), 'コピー先' (Destination), '動作' (Action), and a table for 'コピー時に名前を変更する' (Change name when copying). Red boxes and arrows highlight specific features and settings.

ジョブネット詳細 (Job Network Details)

ジョブネット名: ファイル受信
 コメント: Bシステムからファイルを受信する
 有効: はい
 トリガー種別: ファイル受信
 ジョブ設定
 ジョブでエラー発生時に実行するジョブ: なし
☐ ジョブでエラー発生してもトリガーの監視を停止しない
 ジョブ一覧:

No.	ジョブ	コメント
1	ファイル解凍	受信ファイルを解凍する
2	ファイル復号化	ファイルを復号化する
3	ファイル変換(CSV)	更新データを変換する
4	コマンド実行	サーバーへ受信データを反映する
5	ファイルコピー・移動	

ファイルコピー・移動設定 (File Copy/Move Settings)

コメント: 受信データをバックアップする

処理対象ファイル
☐ 前ジョブで処理したファイル
☒ トリガーとなったファイル
☐ 指定
 対象ファイル一覧

	パス名	正規表現	ファイル名
*		☐	

※正規表現はファイル名でのみ使用可能です

コピー先: C:\DATA\バックアップ

動作
☒ コピー ☐ 移動

☐ コピー時に名前を変更する ※正規表現を用いて指定してください

変更条件一覧

	変更前	変更後
*		

☐ 上書きする

OK キャンセル

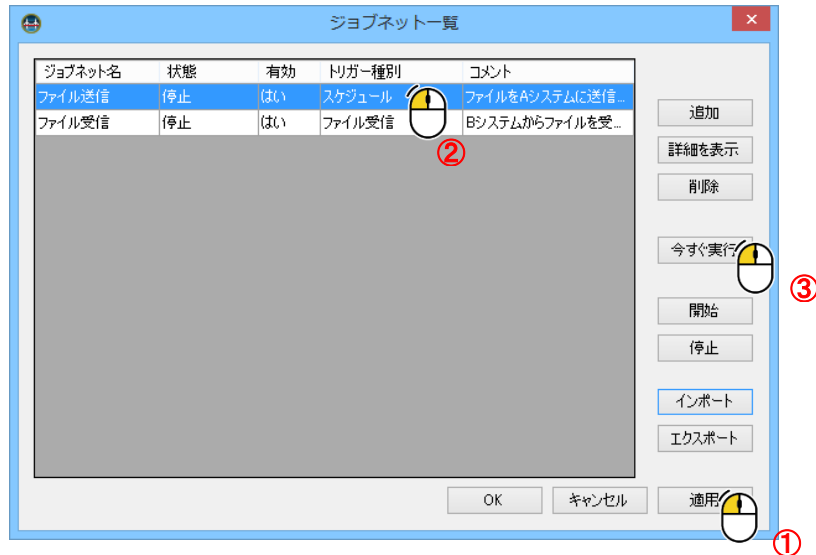
Annotations:

- 受信したファイルに対し処理を行います。
- コピー先のパスを指定します。
- コピーか移動かを選択します。
- コピー・移動処理のオプション機能です。

3 ジョブの動作確認

トリガー種別が「スケジュール」のジョブネットの場合、ジョブネット一覧から動作確認を行うことができます。追加や編集後に「適用」ボタンをクリックし、変更を反映してください。

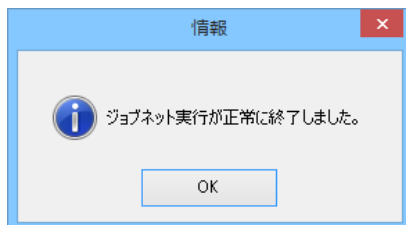
対象のジョブネットを選択し、「今すぐ実行」ボタンをクリックします。



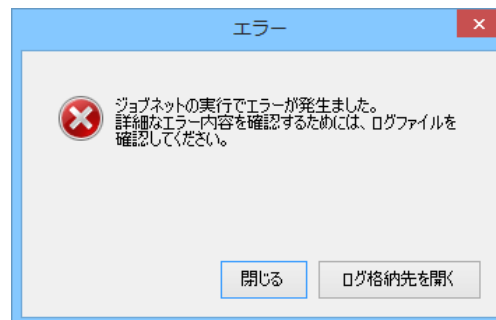
ジョブネットが正常に実行された場合、ダイアログが表示されます。

もしエラーが発生した場合、エラーダイアログが表示されます。ログファイルに記載されたエラー内容を確認し、ジョブネットの編集を行ってください。

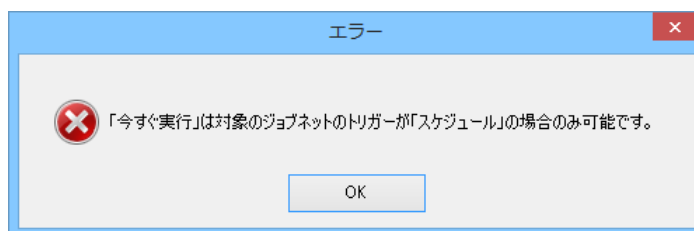
< 正常の場合 >



< エラー発生の場合 >



トリガー種別がスケジュール以外のジョブネットに対してはエラーダイアログが表示されません。



4 エラーが発生した時

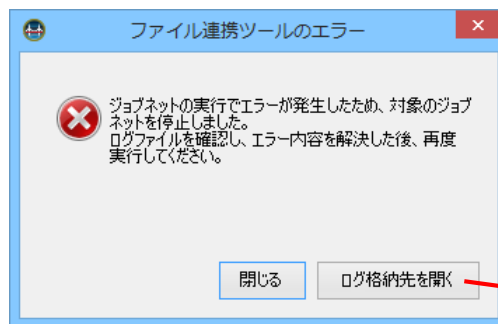
ジョブネットの実行中にエラーが発生した場合、表示設定に従いエラーが通知されます。エラー内容の詳細については、ログファイルに出力されます。

<アイコン（エラー有）>



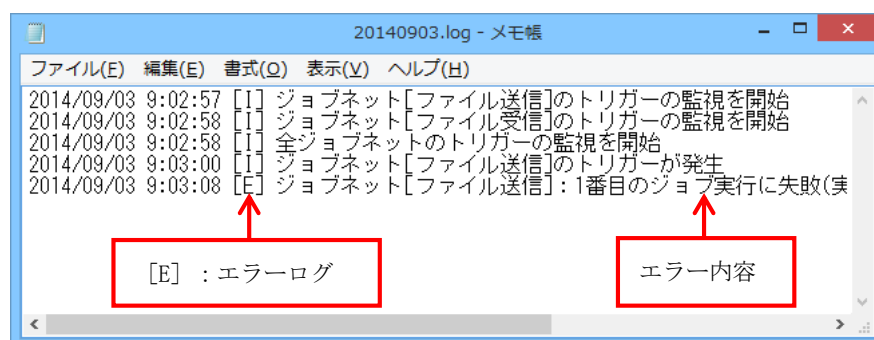
操作メニューを表示し、ログ格納先を開きます。
エラー内容を確認してください。

<エラーダイアログ>



クリックし、ログ格納先を開きます。
エラー内容を確認してください。

エラーが通知された場合、ログファイルに出力されたエラー内容を確認し、対応してください。



5 ジョブネットの登録件数

ジョブネットとジョブネットを構成するジョブの追加可能件数に制限はありません。ただし、登録件数が多くなると、処理速度に影響を与え、動作が遅くなる恐れがあります。ご注意ください。

6 正規表現について

ジョブ設定では、ファイル名の指定に正規表現を使用できます。ファイル連携ツールは、Microsoft .NET Framework の正規表現に対応しています。

詳細については [http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/az24scfc\(v=vs.80\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/az24scfc(v=vs.80).aspx) を参照してください。

7 スタートアップへの登録

ファイル連携ツールコンソールは、ログオフ時に終了します。ログオン時にファイル連携ツールコンソールの自動起動が必要な場合、スタートアップに登録してください。なお、ジョブネットの起動は Windows のサービスとして動いているファイル連携ツールサービスが OS 起動時に行っているため、スタートアップへの登録は不要です。

索引

あ

暗号化	3, 22, 40, 48
インポート	30
エクスポート	30

か

開始	28, 29
コマンド実行	23, 38, 50

さ

ジョブ設定	13, 16, 37, 46, 54
ジョブネット一覧	11, 12, 28, 29, 35, 44, 52
ジョブネット機能	3
ジョブネット詳細	12, 35, 44
スケジュール	1, 3, 15, 23, 26, 36, 52
正規表現	54

た

停止	4, 26, 28, 29, 32
データ反映	50
データ変換	2, 18, 19, 39, 41, 49
トリガー	13, 15, 16, 23, 26, 36, 45, 52

は

バックアップ	42, 43, 45, 51
ファイル圧縮／解凍	21
ファイル解凍	47
ファイル監視	2, 14
ファイル監視機能	2
ファイル受信	14, 44, 45, 46, 47, 48
ファイル送信	3, 4, 16, 20, 35, 37, 42
ファイルのコピー・移動	17
ファイル復号化	48
ファイル変換（CSV）	18
フォルダー監視	2, 14
フォルダー監視機能	2
復号化	3, 22, 48, 49

ら

ログ	4, 31, 32, 53
----------	---------------

ファイル連携ツール ユーザーズガイド

2015年 7月1日 第1版（改訂）

発 行

株式会社 KIT

〒460-0026

愛知県名古屋市中区伊勢山2丁目11-15 ASビル金山

Copyright (c) 2014 KIT Co., Ltd. All Rights Reserved.